

札幌医科大学要覧

平成26年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1 概要	1
(1) 沿革	1
(2) 歴代理事長等	3
(3) 組織機構図	4
(4) 役職員	5
(5) 名誉教授	10
(6) 名誉博士	10
(7) 正職員数	11
ア 総括表	
イ 医学部学科目（基礎医学部門）職員数	
ウ 医学部学科目（臨床医学部門）職員数	
エ 医学部講座（基礎医学部門）職員数	
オ 医学部講座（臨床医学部門）職員数	
カ 保健医療学部職員数	
キ 医療人育成センター職員数	
ク 助産学専攻科職員数	
ケ 附属病院職員数	
コ 事務局職員数	
(8) 主な研究題目	15
ア 医学部	
イ 保健医療学部	
ウ 医療人育成センター	
エ 寄附講座	
オ 特設講座	
(9) 文部科学省 G P の採択・実施状況	29
(10) 国際交流	30
ア 国際医学交流	
イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
ウ 教員在外研究等	
エ 国際医学交流センター	
(11) 標本館	32
ア 歴代館長	
イ 概況	
ウ 利用状況	
2 学事事項	33
(1) 学生に関する事項	33
ア 年度別志願者及び入学者数	
イ 定員及び現員数	
ウ 出身地別現員数	
(2) 年次別卒業生数	35
ア 医学部	
イ 保健医療学部	
(3) 国家試験合格状況	37
ア 医師	
イ 看護師	
ウ 保健師	
エ 理学療法士	
オ 作業療法士	
カ 助産師	
(4) 研究生数	39
(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数	40
(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数	40
3 附属病院	41
(1) 沿革	41
(2) 歴代病院長	42
(3) 患者概況	43
ア 年間延患者数	
イ 1日平均患者数	
(4) 中央部門稼働実績概況	44
ア 放射線部使用状況	
イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数	
ウ 薬剤部調剤件数	
エ 手術部手術件数	
(5) 分娩件数	47
(6) 病床数	48
(7) 病理解剖件数	49
(8) 医療相談状況（平成25年度）	50
ア 各科別件数	
イ 相談内容別件数	

(9)	病院経営概況	51
	ア 病院診療収入稼働額	
	イ 医療行為別診療収入稼働額	
4	医学部附属フロンティア医学研究所	52
(1)	沿革	
(2)	歴代研究所長	
(3)	歴代研究所副所長	
(4)	組織	
(5)	研究計画の概要	
5	医学部教育研究機器センター	54
(1)	沿革	
(2)	歴代施設部長及びセンター長	
(3)	組織	
6	医学部動物実験施設部	56
(1)	沿革	
(2)	歴代施設部長	
(3)	組織	
(4)	関連委員会・指針	
(5)	事業の概要（平成25年度）	
	ア 施設利用者数	
	イ 実験動物購入数及び飼育数	
	ウ 実験動物検疫検査実績数	
7	附属総合情報センター	58
(1)	沿革	
(2)	センター長	
(3)	組織	
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況	
	（情報システム部門）	
	ア 教育支援システム	
	イ 研究支援システム	
	ウ 地域医療支援システム	
	エ 図書館システム	
	オ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
	（図書館部門）	
	ア 組織・施設概要	
	イ 蔵書	
	ウ 入館者数内訳（平成25年度）	
	エ 利用概要（平成25年度）	
	オ 地域医療支援（平成25年度文献複写受付）	
	カ 特徴的な業務	
8	附属産学・地域連携センター	62
(1)	沿革	
(2)	歴代センター長	
(3)	組織	
(4)	業務概要	
	ア 研究支援	
	イ 教育支援	
	ウ 知的財産の管理活用	
(5)	文部科学省科学研究費助成事業	
(6)	受託研究受入れ状況	
(7)	特許出願等の状況	
9	分子標的探索講座	65
(1)	沿革	
(2)	担当教授	
(3)	組織	
(4)	研究計画の概要	
10	生体工学・運動器治療開発講座	66
(1)	沿革	
(2)	担当教授及び代表教員	
(3)	組織	
(4)	研究計画の概要	
11	アイン・ニトリ緩和医療学推進講座	67
(1)	沿革	
(2)	担当教授及び代表教員	
(3)	組織	
(4)	研究計画の概要	
12	再生治療推進講座	68
(1)	沿革	
(2)	担当教授及び代表教員	
(3)	組織	
(4)	研究計画の概要	

13	糖尿病細胞療法講座	69
	(1) 沿革	
	(2) 担当教授及び代表教員	
	(3) 組織	
	(4) 研究計画の概要	
14	オホーツク医療環境研究講座	70
	(1) 沿革	
	(2) 担当教授及び代表教員	
	(3) 組織	
	(4) 研究計画の概要	
15	道民医療推進学講座	71
	(1) 沿革	
	(2) 担当教授及び代表教員	
	(3) 組織	
	(4) 研究計画の概要	
16	南檜山周産期環境研究講座	72
	(1) 沿革	
	(2) 担当教授及び代表教員	
	(3) 組織	
	(4) 研究計画の概要	
17	がん疼痛緩和医療学講座	73
	(1) 沿革	
	(2) 担当教授及び代表教員	
	(3) 組織	
	(4) 研究計画の概要	
18	平成26年度収入支出予算	74
19	校舎等建物面積	75

1 概 要

(1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を開設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可（学生入学定員40人）
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙行（大学記念日とする）
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可（学生入学定員25人）
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員（総員28人）
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員（総員30人）
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止 生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制（2人）施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年（創基30周年）記念式挙行
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制（2人）施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員（総員31人）
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事（病棟・中央診療棟）竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事（外来診療棟）竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事（臨床教育研究棟）竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部（入学定員90名）開設 （看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科（入学定員24名）開設 （看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻）
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置

平成11年 4 月 1 日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年 6 月11日	新図書館開設
平成12年 4 月 1 日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員 6 名)開設 学務部を廃止し、学生部を設置 医学部に副学部長制(2名)施行 臨床検査医学講座増設
平成12年 6 月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年 4 月 1 日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年 4 月16日	地域医療支援センター設置
平成14年 4 月 1 日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月 1 日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月 1 日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年 4 月 1 日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第69条に基づく認証評価を受ける
平成16年 9 月17日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年 4 月 1 日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員 2 名)開設
平成19年 4 月 1 日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成19年10月 1 日	機器診断学廃止
平成20年 2 月13日	保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員 大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月 1 日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年 4 月 1 日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年 6 月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年 4 月 1 日	医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更 医科知的財産管理学、病院経営・管理学、放射線診断学を増設 生化学講座を分子生物学講座に名称変更
平成24年 3 月31日	医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
平成24年 4 月 1 日	助産学専攻科設置 救急・集中治療医学講座を改組し、救急医学講座、集中治療医学を増設 遺伝医学増設 附属病院中央写真室を廃止し、教育研究機器センター画像・映像支援部門を設置
平成24年 9 月 1 日	外科学第二講座を改組し、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学を増設
平成25年 4 月 1 日	内科学第一講座を消化器・免疫・リウマチ内科学講座に、内科学第二講座を循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座に、内科学第三講座を呼吸器・アレルギー内科学講座に、内科学第四講座を腫瘍・血液内科学講座に、外科学第一講座を消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座に、医学部附属フロンティア医学研究所の分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更 事務局病院課栄養給食部門、患者サービスセンターを統合し、附属病院に医療連携・総合相談センターを設置
平成25年 8 月 1 日	医学部附属フロンティア医学研究所の遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更
平成26年 4 月 1 日	事務局学務課入試室を廃止し、アドミッションセンターを設置
平成26年 6 月 1 日	病院経営・管理学を病院管理学に名称変更
平成26年10月 1 日	保健管理センター設置 保健医療学部看護学科の再編に伴い、基礎臨床医学講座を廃止

(2) 歴代理事長等

◎ 理事長

平成19年4月1日 — 平成22年3月31日
平成22年4月1日 — 現 在

今 井 浩 三
島 本 和 明

◎ 学 長

昭和25年4月1日 — 昭和36年3月31日
昭和36年4月1日 — 昭和40年3月31日
昭和40年4月1日 — 昭和45年2月1日
昭和45年2月1日 — 昭和47年2月8日
昭和47年2月9日 — 昭和55年2月8日
昭和55年2月9日 — 昭和61年2月8日
昭和61年2月9日 — 平成4年2月8日
平成4年2月9日 — 平成10年2月8日
平成10年2月9日 — 平成16年2月8日
平成16年2月9日 — 平成22年3月31日
平成22年4月1日 — 現 在

(学長職務代理)

大 野 精 七
中 川 幸 諭
新 保 太郎
渡 邊 左 武
渡 邊 左 武
和 田 武 雄
菊 地 浩 吉
谷 内 昭
秋 野 明
今 井 三
島 本 和 明

◎ 医学部長

平成5年4月1日 — 平成8年2月29日
平成8年3月1日 — 平成12年2月29日
平成12年3月1日 — 平成16年2月29日
平成16年3月1日 — 平成18年2月28日
平成18年3月1日 — 平成22年3月31日
平成22年4月1日 — 平成26年3月31日
平成26年4月1日 — 現 在

秋 野 豊 明
森 野 道 夫
神 保 孝 一
佐 藤 昇 志
當 瀬 規 嗣
黒 木 由 夫
堀 尾 嘉 幸

◎ 保健医療学部長

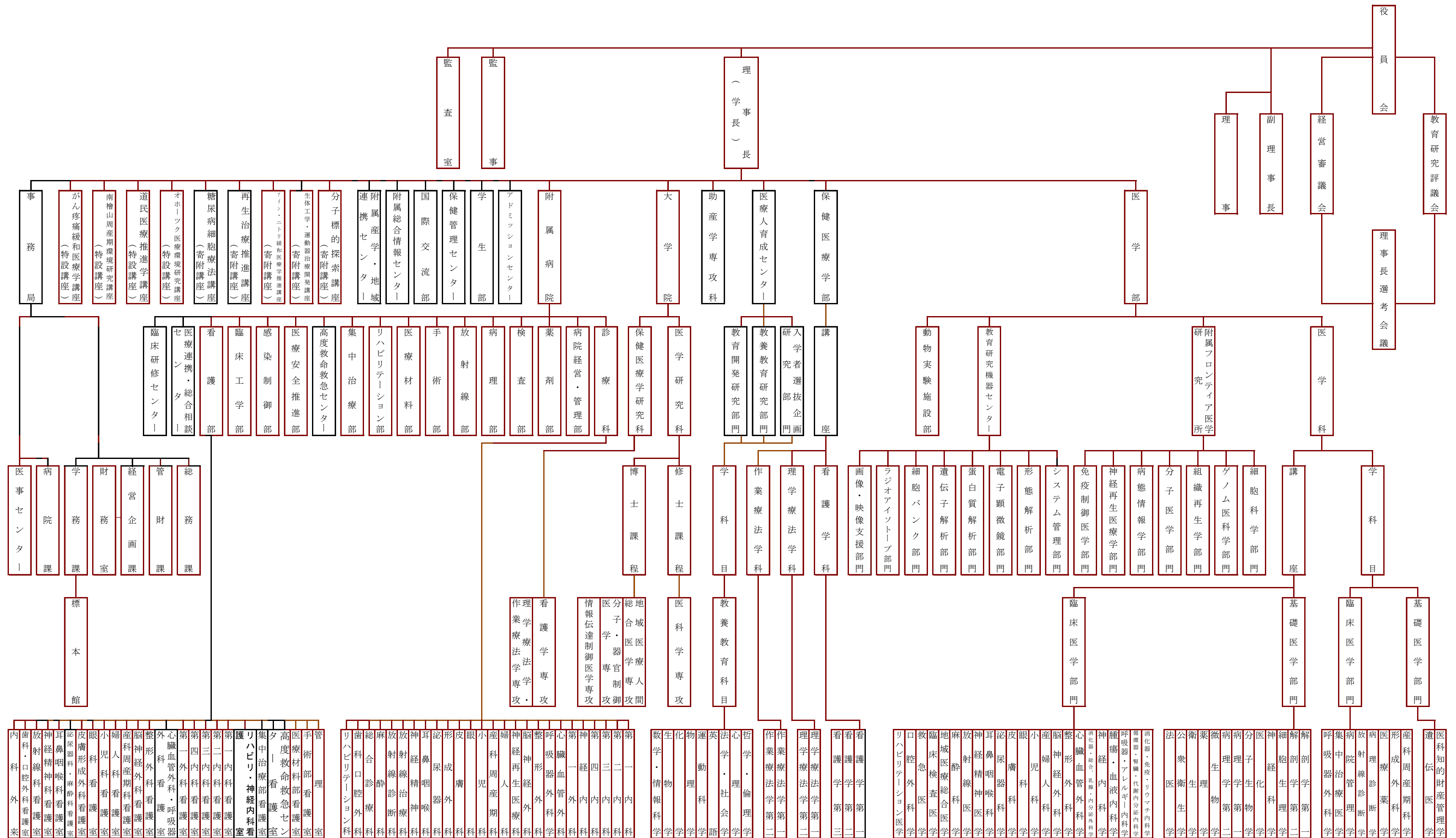
平成5年4月1日 — 平成9年3月31日
平成9年4月1日 — 平成14年12月28日
平成15年1月10日 — 平成15年2月28日
平成15年3月1日 — 平成21年3月31日
平成21年4月1日 — 現 在

(学部長事務代理)

近 藤 潤 子
佐 藤 公 剛
乾 山 美
丸 公 子
乾 公 美

(3) 組織機構図 (平成26年10月1日現在)

4



(4) 役職員

(平成26年10月 1 日現在)

□法人

◎役員会

理	事	長	島	本	和	明
副	理	長	平	山	和	則
理		事	堀	尾	嘉	幸
	〃	(管理・運営担当)	乾		公	美
	〃	(教育担当)	山	下	敏	彦
	〃	(学術研究担当)	白	崎	賢	治
監		(医療担当)	山	本	剛	司
	〃	(経営担当)	小	寺	正	史

◎経営審議会

議	長	島	本	和	明
委	員	平	山	和	則
	〃	堀	尾	嘉	幸
	〃	山	下	敏	彦
	〃	白	崎	賢	治
	〃	太	田	三	夫
	〃	恩	村	裕	之
	〃	水	野	克	也
	〃	吉	澤	慶	信
	〃	徳	田	禎	久

◎教育研究評議会

議	長	島	本	和	明
委	員	堀	尾	嘉	幸
	〃	乾		公	美
	〃	山	下	敏	彦
	〃	森	岡		伸
	〃	黒	木	由	夫
	〃	當	瀬	規	嗣
	〃	氷	見	徹	夫
	〃	澤	田	典	均
	〃	時	野	隆	至
	〃	三	浦	哲	嗣
	〃	長	峯		隆
	〃	加	藤	淳	二
	〃	齋	藤		豪
	〃	大	日	向	輝
	〃	小	塚	直	美
	〃	松	山	清	樹
	〃	相	馬		治
	〃	千	葉		仁
	〃	空	閑	良	均
					壽

◎監査室

室	長(兼)	教授	三	高	俊	広
---	------	----	---	---	---	---

□大学

長(兼)

島 本 和 明

◎事務局

事	務	局	長	千	葉	均
事	務	局	次	長	齊	藤
病	院	事	務	長	秦	賢
総	務	課	長	湯	田	邦
管	財	課	長	服	部	勝
経	営	企	画	課	鶴	田
兼	財	務	室	長	山	本
学	務	課	長	山	横	守
病	院	課	長	横	山	秀
医	事	セ	ン	タ	一	視
			一	長	松	哉
					原	

◎医学部

学 部 長 (兼)	教授	堀 尾 嘉 幸
副 学 部 長 (〃)	〃	三 浦 哲 嗣
〃 (〃)	〃	長 峯 隆

学 科 目

基礎医学部門

医科知的財産管理学	教授	石 埜 正 穂
遺 伝 医 学	〃	櫻 井 晃 洋

臨床医学部門

産科周産期科学 (兼)	教授	齋 藤 豪
形 成 外 科 学	〃	四 ッ 柳 高 敏
医 療 薬 学	〃	宮 本 篤
病 理 診 断 学	〃	長 谷 川 匡
放 射 線 診 断 学	〃	畠 中 正 光
病 院 管 理 学	〃	土 橋 和 文
集 中 治 療 医 学 (兼)	〃	山 蔭 道 明
呼 吸 器 外 科 学	〃	渡 辺 敦

講 座

基礎医学部門 (13講座)

解剖学第一講座	教授	辰 巳 治 之
解剖学第二講座	〃	藤 宮 峯 子
細胞生理学講座	〃	當 瀬 規 嗣
神経科学講座	〃	長 峯 隆
医 化 学 講 座	〃	黒 木 由 夫
分子生物学講座	〃	鈴 木 拓
病理学第一講座	〃	佐 藤 昇 志
病理学第二講座	〃	澤 田 典 均
微生物学講座	〃	横 田 伸 一
薬 理 学 講 座 (兼)	〃	堀 尾 嘉 幸
衛 生 学 講 座	〃	小 林 宣 道
公衆衛生学講座	〃	森 満
法 医 学 講 座	〃	井 上 裕 匡

臨床医学部門 (23講座)

消化器・免疫・リウマチ 内 科 学 講 座	教授	篠 村 恭 久
循環器・腎臓・代謝内分 泌 内 科 学 講 座	〃	三 浦 哲 嗣
呼吸器・アレルギー内科学 講 座	〃	高 橋 弘 毅
腫瘍・血液内科学講座	〃	加 藤 淳 二
神経内科学講座	〃	下 濱 俊
消化器・総合・乳腺・内 分 泌 外 科 学 講 座	〃	平 田 公 一
心臓血管外科学講座	〃	樋 上 哲 哉
整形外科科学講座 (兼)	〃	山 下 敏 彦
脳神経外科学講座	〃	三 國 信 啓
産婦人科学講座	〃	齋 藤 豪
小 児 科 学 講 座	〃	堤 裕 幸
眼 科 学 講 座	〃	大 黒 浩
皮 膚 科 学 講 座	〃	山 下 利 春

泌尿器科学講座	教授	舩 森 直 哉
耳鼻咽喉科学講座	〃	氷 見 徹 夫
神経精神医学講座	(不 在)	
放射線医学講座	教授	坂 田 耕 一
麻 酔 科 学 講 座	〃	山 蔭 道 明
地 域 医 療 総 合 医 学 講 座	〃	山 本 和 利
臨床検査医学講座	(不 在)	
救 急 医 学 講 座	教授	成 松 英 智
口腔外科学講座	〃	平 塚 博 義
リハビリテーション 医 学 講 座	〃	石 合 純 夫

○医学部附属フロンティア医学研究所

所 長 (兼)	教授	時 野 隆 至
細胞科学部門	〃	小 島 隆 至
ゲノム医科学部門	〃	時 野 隆 至
組織再生学部門	〃	三 高 俊 広
分子医 学 部 門	准教授	佐 久 間 裕 司
病態情報学部門	教授	小 海 康 夫
神経再生医療学部門	〃	本 望 修
免疫制御医学部門	〃	一 宮 慎 吾

○医学部教育研究機器センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	小 林 宣 道
システム管理部門長 (〃)	〃	小 林 宣 道
形態解析部門長 (〃)	講師	村 田 雅 樹
電子顕微鏡部門長 (〃)	准教授	二 宮 孝 文
蛋白質解析部門長 (〃)	〃	高 橋 素 子
遺伝子解析部門長 (〃)	教授	鈴 木 拓
細胞バンク部門長 (〃)	講師	佐 々 木 祐 典
ラジオアイソトープ部門長 (〃)	教授	畠 中 正 光
画像・映像支援部門長 (〃)	〃	澤 田 典 均

○医学部動物実験施設部

部 長 (兼)	教授	高 橋 弘 毅
副 部 長	准教授	磯 貝 浩

◎保健医療学部

学 部 長 (兼)	教授	乾 公 美
副 学 部 長 (〃)	〃	大 日 向 輝 美
〃 (〃)	〃	小 塚 直 樹

看護学科

学 科 長 (兼)	教授	大 日 向 輝 美
看護学第一講座	〃	大 日 向 輝 美
〃	〃	吉 野 淳 一
〃	〃	古 畑 智 久
看護学第二講座	〃	今 野 美 紀
看護学第三講座	〃	城 丸 瑞 恵
〃	〃	長 谷 川 真 澄
〃	〃	齋 藤 重 幸

理学療法学科

学 科 長 (兼)	教授	古 名 丈 人
理学療法学第一講座 (〃)	〃	乾 公 美
〃	〃	小 塚 直 樹
〃	〃	古 名 丈 人
理学療法学第二講座	〃	片 寄 正 樹
〃	〃	松 村 博 文
〃	〃	渡 邊 耕 太

作業療法学科

学 科 長 (兼)	教授	松 山 清 治
作業療法学第一講座	〃	中 村 眞 理 子
〃	〃	太 田 久 晶
〃	〃	今 井 富 裕
作業療法学第二講座	〃	仙 石 泰 仁
〃	〃	池 田 望
〃	〃	松 山 清 治

◎医療人育成センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	森 岡 伸
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	相 馬 仁

入学者選抜企画研究部門

部 門 長 (兼)	教授	森 岡 伸
-----------	----	-------

教養教育研究部門

部 門 長 (兼)	教授	藤 井 博 匡
-----------	----	---------

学 科 目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学	講師	舩 木 祝
心 理 学	准教授	田 中 豪 一
〃	〃	高 橋 義 信
法 学 ・ 社 会 学	〃	旗 手 俊 彦
〃	〃	道 信 良 子
英 語	教授	森 岡 伸
運 動 科 学	准教授	岡 野 五 郎
物 理 学	教授	高 田 純
化 学	〃	藤 井 博 匡
生 物 学	〃	吉 田 幸 一
数 学 ・ 情 報 科 学	准教授	大 柳 俊 夫
〃	〃	加 茂 憲 一

教育開発研究部門

部 門 長 (兼)	教授	相 馬 仁
教育開発研究部門	〃	相 馬 仁

◎助産学専攻科

専 攻 科 長 (兼)	教授	乾 公 美
-------------	----	-------

◎附属病院

病 院 長 (兼)	教授	山 下 敏 彦
副 院 長 (〃)	〃	加 藤 淳 二
〃 (〃)	〃	齋 藤 豪 美
〃 (〃)	看護部長	萩 原 直 美

診療科 (26科938床)

第 一 内 科 長 (兼)	教授	篠 村 恭 久
第 二 内 科 長 (〃)	〃	三 浦 哲 嗣
第 三 内 科 長 (〃)	〃	高 橋 弘 毅
第 四 内 科 長 (〃)	〃	加 藤 淳 二
神 経 内 科 長 (〃)	〃	下 濱 俊
第 一 外 科 長 (〃)	〃	平 田 公 一
心臓血管外科長 (〃)	〃	樋 上 哲 哉
呼 吸 器 外 科 長 (〃)	〃	渡 辺 敦
整 形 外 科 長 (〃)	〃	山 下 敏 彦
脳 神 経 外 科 長 (〃)	〃	三 國 信 啓
神 経 再 生 医 療 科 長 (〃)	〃	本 望 修
婦 人 科 長 (〃)	〃	齋 藤 豪 美
産 科 周 産 期 科 長 (〃)	〃	齋 藤 豪 美
小 児 科 長 (〃)	〃	堤 裕 幸
眼 科 長 (〃)	〃	大 黒 浩
皮 膚 科 長 (〃)	〃	山 下 利 春
形 成 外 科 長 (〃)	〃	四 ッ 柳 高 敏
泌 尿 器 科 長 (〃)	〃	舩 森 直 哉
耳 鼻 咽 喉 科 長 (〃)	〃	氷 見 徹 夫
神 経 精 神 科 長 (〃)	〃	舩 森 直 哉
放 射 線 治 療 科 長 (〃)	〃	坂 田 耕 一
放 射 線 診 断 科 長 (〃)	〃	畠 中 正 光
麻 酔 科 長 (〃)	〃	山 蔭 道 明
総 合 診 療 科 長 (〃)	〃	山 本 和 利
歯 科 口 腔 外 科 長 (〃)	〃	平 塚 博 義
リハビリテーション科長 (〃)	〃	石 合 純 夫

病院経営・管理部

部 長 (兼)	教授	土 橋 和 文
薬 剤 部		
部 長 (兼)	教授	宮 本 篤
検 査 部		
部 長 (兼)	教授	加 藤 淳 二
病 理 部		
部 長 (兼)	教授	長 谷 川 匡
放 射 線 部		
部 長 (兼)	教授	畠 中 正 光
手 術 部		
部 長 (兼)	教授	大 黒 浩
医 療 材 料 部		
部 長 (兼)	教授	山 下 利 春
リハビリテーション部		
部 長 (兼)	教授	石 合 純 夫
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー		
セ ン タ ー 長 (兼)	教授	成 松 英 智
集 中 治 療 部		
部 長 (兼)	教授	山 蔭 道 明

医療安全推進部

部 長 (兼)	教授	土 橋 和 文
感 染 制 御 部		
部 長 (兼)	教授	舩 森 直 哉
臨 床 工 学 部		
部 長 (兼)	教授	齋 藤 豪 美
医 療 連 携 ・ 総 合 相 談 セ ン タ ー		
セ ン タ ー 長 (兼)	教授	齋 藤 豪 美
臨 床 研 修 セ ン タ ー		
セ ン タ ー 長 (兼)	教授	三 浦 哲 嗣
看 護 部		
部 長		萩 原 直 美

◎アドミッションセンター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	黒 木 由 夫
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	大 日 向 輝 美
(〃)	〃	森 岡 伸
(〃)	講師	三 瀬 敬 治
(〃)	教授	一 宮 慎 吾
(〃)	准教授	丸 山 玲 緒
(〃)	講師	千 葉 弘 文
(〃)	〃	寺 本 瑞 絵
(〃)	教授	今 野 美 紀
(〃)	〃	小 塚 直 樹
(〃)	〃	中 村 眞 理 子
(〃)	准教授	佐 藤 久 美 子
(〃)	講師	山 田 崇 史
(〃)	准教授	中 島 そ の み
(〃)	〃	旗 手 俊 彦
(〃)	〃	加 茂 憲 一
(〃)	講師	G ・ ウ ィ ラ ー

◎学生部

部 長 (兼)	教授	黒 木 由 夫
副 部 長 (〃)	〃	齋 藤 重 幸
(〃)	〃	鈴 木 拓
(〃)	〃	中 村 眞 理 子

◎保健管理センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	櫻 井 晃 洋
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	齋 藤 重 幸

◎国際交流部

部 長 (兼)	教授	當 瀬 規 嗣
(〃)	〃	齋 藤 豪 美
(〃)	〃	山 蔭 道 明
(〃)	〃	松 山 清 治

◎附属総合情報センター

センター長(兼)	教授	氷見徹夫
副センター長(〃)	准教授	大西浩文
〃		木本尚美

◎附属産学・地域連携センター

センター長(兼)	教授	澤田典均
副センター長(〃)	〃	石埜正穂
〃		高橋朋江

(寄附講座)

分子標的探索講座	特任教授	新津洋司郎
生体工学・運動器治療開発講座	特任教授	名越智
アイン・ニトリ緩和医療学講座(兼)	教授	山蔭道明
再生治療推進講座(兼)	教授	本望修
糖尿病細胞療法講座(兼)	教授	藤宮峯子

(特設講座)

オホーツク医療環境研究講座(兼)	教授	下濱俊
道民医療推進学講座(兼)	教授	山下敏彦
南檜山周産期環境研究講座(兼)	教授	齋藤豪
がん疼痛緩和医療学講座(兼)	教授	山蔭道明

(5) 名誉教授 (授与順)

(平成26年10月1日現在)

名	誉	教	授
塚	寺	三	漆
三	高	熊	黒
福	飯	小	藤
近	藪	菊	高
森	大	形	三
小	筒	森	中
岩	浅	千	浦
浦	端	石	板
望	石	小	秋
工	阿	鬼	山
安	David James Magee	青	名
松	神	宮	加
乘	佐	新	根
田	山	木	崎
英	良	一	杏
之	雄	毅	朗
三	明	郎	道
攻	基	蕙	子
世	吉	彦	夫
世	克	次	郎
完	夫	喬	三
一	三	子	三
夫	一	一	一
郎	郁	雄	明
一	作	彰	雄
三	夫	十	三
藩	博	之	一
一	範	雄	而
捷	輝	司	郎
慎	洋	司	郎

(元学長)

(元学長)

名	誉	教	授
丸	並	稻	今
笠	武	澤	賀
奥	晴	蝦	浅
藤	塚	松	齋
渡	傳		

(元学長)

山	木	葉	井
井	田	田	佐
宮	山	名	井
井	本	嶋	藤
邊	野		

(6) 名誉博士

(平成26年10月1日現在)

名	誉	博	士
Pierre	CHAMBON		

(7) 正職員数

(平成26年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

		計	学 長	医 学 部					保健医療学部			医療人育成センター			助 産 学 専 攻 科	附 属 病 院	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	道 民 医 療 推 進 学 講 座	事 務 局	監 査 室			
				医 学 科				医 附 属 フ ロ ン テ ィ ア 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	作 業 療 法 学 科	入 学 者 選 抜 企 画 研 究 部 門								教 養 教 育 研 究 部 門	教 育 開 発 研 究 部 門	
				学 科 目 （ 基 礎 医 学 部 門 ）	学 科 目 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	講 座 （ 基 礎 医 学 部 門 ）	講 座 （ 臨 床 医 学 部 門 ）																	
教育職	長 授 授 師 教 手	1 73 54 100 155 8	1		2 6 3 5 11	13 21 8 19 14 52 24 100 2	6 6 4 5 5 1				7 6 5 9 2 4	6 1 3 2 4 1		4 9 4 1	1 1 3 2 2	1				1				
	計	391	1	3	25	61	192	21		1	27	14	13	1	18	7	5		1		1			
	局 長・次 長 等 課 長 等・主 幹 一 般 事 務 員	3 26 134																5 25 2	1 3 5		3 18 100	1 1		
	技 守 電 頭 操 作 員 司 研 究 補 助 員 調 理 員 ボ イ ラ ー 技 士 技 能 員 薬 剤 補 助 員 看 護 助 手	23 1 2 7 7 1 1 1 4			2 2 2	1 1 2	6 2 2							1				1 1 1 4			1 1 1			
	計 (1)	211				4	1	3	8	2					1			39	11	6		134	2	
医療職	獣 医 師 栄 養 士 臨 床 検 査 技 師 衛 生 検 査 技 師 薬 剤 師 診 療 放 射 線 技 師 理 学 療 法 士 作 業 療 法 士 言 語 聴 覚 士 理 療 訓 練 員 臨 床 工 学 技 士 歯 科 衛 生 士 歯 科 技 工 士 視 能 訓 練 士	2 6 54 1 46 52 8 3 3 2 16 4 3 2						1 1	2 4	2								6 51 46 48 8 3 3 2 16 4 3 2						
	計 (2)	202					2	6	2								192							
	看 護 師 助 産 師 准 看 護 師	720 29 2																720 29 2						
	計 (3)	751															751							
	(1)+(2)+(3)		1,164			4	1	5	14	4					1			982	11	6		134	2	
	総 計		1,555	1	3	25	65	193	26	14	5	27	14	13	1	19	7	5	982	12	6	1	134	2

※役員で職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)4名を含む
※職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属			学科目 (基礎医学部門)			
			医科知的財産管理 学	遺 伝 医 学	計	
職 種	教 育 職	授 准 講 助 助 合	授 授 師 教 手	1	1	2
				1	1	
計			1	2	3	

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目(臨床医学部門)										
		産科 周産期科学	形成 外科科学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 管 理 学	集 中 治 療 医学	呼 吸 器 外 科 学	計		
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	教	1	1	1	1	1	1	6		
				1	1	1	2	1	1	3		
合 計				4	4	1	3	4	2	5	2	25

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座			講 座 (基 礎 医 学 部 門)													
			解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学	法 医 学	計
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
			1			1	1	1	1	1		1	1	1	1	8
教 育 職	教 准 講 助 助	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	2	2		1	1	1	1	14
			1	2	2	2	2	2	1	1	4	3	1	1	2	24
			1										1			2
			5	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	61
一 般 職	研 究 補 助 員 師	技 術 員			1						1				2	
			1	1											2	
			1	1	1						1					4
合 計			6	5	5	5	5	5	5	4	6	5	5	4	5	65

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所属講座			講座（臨床医学部門）																								
			リウマチ・内科学	消化器・内科学	循環器・腎臓・代謝学	呼吸器・アレルギー学	腫瘍・血液内科学	神経内科学	腺・内分泌外科学	消化器・総合、乳	心臓血管外科学	整形外科学	脳神経外科学	産婦人科学	小児科学	眼科学	皮膚科学	泌尿器科学	耳鼻咽喉科学	神経精神医学	放射線医学	麻酔科学	地域医療総合医学	臨床検査医学	救急医学	口腔外科学	医リハビリテーション学
職 種	教育職	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
		教 准 講 助 助	2	1	1	2	2	2	2	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	2	2	4	3	3	2	2	19
一般職	研 究 補 助 員 員	計	7	7	7	7	5	3	6	6	4	4	3	3	5	5	3	4	4	3	5	2	2	6	3	3	52
		技 術 員															1										1
		計															1										1
合 計			13	11	10	12	6	11	7	11	8	10	8	9	8	8	8	7	6	10	3	5	8	8	5	193	

力 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		計
		看護学第一	看護学第二	看護学第三	理学療法学第一	理学療法学第二	作業療法学第一	作業療法学第二	
職 種	教授	3	1	3	3	3	3	3	19
	准教授	3	2			1	2	1	9
	講師	1	4	4	1	1		2	13
	助教		1	1	1	3	1		7
	助手	2		2	1			1	6
合 計		9	8	10	6	8	6	7	54

キ 医療人育成センター職員数 (単位:人)

所 属		入学者選抜企画研究部門	教養教育研究部門									教育開発研究部門	計	
			学科目(教養教育科目)											
			哲学・倫理学	心理学	法学・社会学	英語	運動科学	物 理 学	化 学	生 物 学	数学・情報科学			
職 種														
教育職	教授			2	2	1 1 1	1	1	1	1	1	2	1	5
	准教授	1	1	1					1		1	3	2	10
一般職	助教													8
	研究補助員			1										1
	計	1	1	3	2	3	1	1	2	2	3	7		26
合 計		1	1	4	2	3	1	1	2	2	3	7		27

ク 助産学専攻科職員数 (単位:人)

所 属		助産学専攻科	計
職 種	教授	1	1
	准教授		
	講師	2	2
	助教	2	2
合 計		5	5

ケ 附属病院職員数 (単位:人)

所 属 職 種		附 属 病 院																				
		病院経営・管理部	薬 剂 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	集 中 治 療 部	医 療 安 全 推 進 部	感 染 制 御 部	看 護 部	臨 床 工 学 部	医療連携・総合相談センター	臨床研修センター	産科周産期科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 経 精 神 科	齒 科 口 腔 外 科
一 般 職	課長等・主幹 一般事務職員	29			2	1					1		2		312					1		525
	薬剤補助 看護補助 手員		1										4		1							141
	計	11	1		2	1					1		6		16					1		39
医 療 職	臨床検査技師		46	45	5												1					51
	放射線技師					48																46
	理学療法士							8												1		48
	作業療法士							3														8
看 護 職	言語聴覚士							2														3
	臨床工学技士							2						16								2
	衛生工士																		2			16
	技工士																					4
	栄養士														6							3
	計		46	45	5	48		15						16	6		1	2	1		7	192
看 護 職	看護師	2									2	2	708		6							720
	准看護師												29									29
	計	2									2	2	739		6							751
合 計		13	47	45	7	49		15			3	2	745	16	28		1	2	1	1	7	982

コ 事務局職員数

(単位:人)

所 属		事 務 局							
		局 長 ・ 次 長 等	総 務 課	管 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	計
職 種	局長・次長等	3							3
	局長等		2	3	3	5	3	2	18
	一般事務		20	12	16	23	19	10	100
	技師			9		1			10
	研究補助員					1	1		1
	ボイラー技師			1					1
合 計		3	22	25	19	30	23	12	134

(8) 主な研究題目

ア 医学部

学 科 目 （ 基 礎 医 学 部 門 ）	医科知的財産管理学	1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 再生医療における生体材料の保護 手術・治療方法の保護 革新的技術の有効な保護 2 医学研究分野における産学連携システムの構築 3 無方式主義による研究創作物の知的財産的保護 4 再生医療技術開発における共通基盤確立に向けた研究
	遺 伝 医 学	1 人類遺伝学および細胞遺伝学に関する研究 2 染色体異常や多因子遺伝病の背景と遺伝診断、遺伝カウンセリングに関する研究 3 遺伝性腫瘍の診断と治療に関する研究 4 先天奇形症候群の診断と治療に関する研究
学 科 目 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	産科周産期科学	1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 子宮頸癌の子宮温存術後の妊娠と子宮内感染予防の研究 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	形 成 外 科 学	1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医 療 薬 学	1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	病 理 診 断 学	1 骨軟部腫瘍の腫瘍発生および悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の開発・導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	放 射 線 診 断 学	1 PETやMRI情報に基づく悪性治療の治療効果予測 2 3DMRI画像を用いた股関節唇損傷の診断 3 T2mappingによる悪性軟部腫瘍局所浸潤の検討 4 多時相ASLを用いた血流動態の解析 5 造影コントラスト向上のための撮影条件の検証 6 視神経MRIによる病態解析 7 融合画像におけるアイソトープの集積部位の解剖学的検討 8 アイソトープ治療の適正化とエビデンスの確立 9 CT検査におけるアーチファクト低減および被曝線量低減
	病 院 管 理 学	1 大学病院を中心とした病院経営指標の確立とこれに基づく適性人的および経済的資源配置の研究 2 多施設ベンチマークデータ集積による医療効率と疾患傾向の策定に関する研究 3 病院情報の集積と教育手段としての有効な二次利用法の方策の研究 4 医療効率よりの病・病（診）連携のありかたと多施設検討のための集積と分析ソフトウェア開発 5 医療プロセス分析による多職種作業分担の研究

学 科 目 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	集 中 治 療 医 学	1 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理ならびに治療に関する研究 2 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 3 重症患者における急性血液浄化療法に関する基礎的、臨床的研究 4 重症急性呼吸不全に関する分子生物学的研究 5 高度侵襲および敗血症における消化管機能ならびに栄養に関する臨床的研究
	呼 吸 器 外 科 学	1 肺癌術後の残存肺における気腫性変化の研究 2 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 3 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究 4 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究 5 肺癌における癌遺伝子に関する研究
講 座 （ 基 礎 医 学 部 門 ）	解 剖 学 第 一 講 座	1 消化管の超微形態学および三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル利活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経細胞の特性の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルと細胞接着装置の機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築（URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/ ） 8 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 9 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解 剖 学 第 二 講 座	1 再生医学と変性疾患の解明のための幹細胞研究 2 骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病合併症の治療 3 骨髄間葉系幹細胞を用いたアルツハイマー型認知症の治療
	細 胞 生 理 学 講 座	1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	神 経 科 学 講 座	1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医 化 学 講 座	1 レクチンの構造と機能に関する研究 2 コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 3 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 4 生体防御関連受容体の構造と機能に関する研究 5 肺サーファクタントアポタンパク質の病態医化学的研究
	分 子 生 物 学 講 座	1 癌のエピジェネティクス（DNAメチル化とヒストン修飾） 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌におけるマイクロRNAとRNA干渉系の異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析

講 座 （ 基 礎 医 学 部 門）	病 理 学 第 一 講 座	1 腫瘍免疫分子機構、ヒトがんワクチン開発 2 がん幹細胞の免疫分子生物学 3 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 4 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 5 リンパ球抗原と機能 6 移植片拒絶の制御機構 7 分子シャペロンと神経細胞変性機構 8 アポトーシスの分子機構 9 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 10 シグナル伝達機構 11 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 12 遺伝子診断と分子病理 13 寄生虫病と分子病理 14 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 15 重力医学、宇宙医学
	病 理 学 第 二 講 座	1 生体バリアの分子病理学 2 粘膜の生体防御と病態生理 3 鼻粘膜とタイト結合 4 肝疾患と血液胆汁関門 5 シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 6 上皮細胞の極性形成機構 7 細胞間隙における分子通過機構 8 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
	微 生 物 学 講 座	1 病原体関連分子パターン（PAMPs）の構造、生物活性、抗原性 2 微生物感染によるサイトカイン及びTo11様受容体シグナル伝達系の変動に関する研究 3 抗菌薬耐性菌の耐性機構及び分子疫学 4 抗菌薬が有する抗菌活性以外の薬理作用 5 微生物感染における分子シャペロン 6 ピロリ菌の感染経路、病原性に関する研究
	薬 理 学 講 座	老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明
	衛 生 学 講 座	1 下痢症ウィルスの分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行および生体データに関する時系列解析
	公 衆 衛 生 学 講 座	1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究
	法 医 学 講 座	1 低酸素の情動行動に与える影響の分子病態学的検討 2 各種病態における死後画像診断基準の策定 3 死後画像を用いた個人識別法の開発 4 特発性大腿骨壊死発生機序の解明・治療法の開発 5 薬物乱用に至るメカニズムの検討

講座（臨床医学部門）	消化器・免疫・リウマチ内科学講座	1 消化器疾患の病態解明とその臨床応用 2 消化管病変の画像強調内視鏡診断と遺伝子診断の開発 3 消化器癌の個別化医療とバイオマーカーの開発 4 炎症性腸疾患の再生治療と免疫治療の開発 5 肝胆膵領域における新しい画像診断と遺伝子診断の開発 6 膵癌に対するがんワクチン療法の開発 7 臨床検体を用いたゲノム・エピゲノム解析とその臨床応用 8 がんの分子標的治療の開発 9 膠原病および自己免疫疾患の成因解明 10 ミクリッツ病と全身性IgG4関連疾患の病態解明 11 免疫疾患における新しい治療法の開発
	循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座	1 高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法に関する基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法に関する基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法に関する基礎的・臨床的研究 10 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 11 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 12 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 13 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究
	呼吸器・アレルギー内科学講座	1 間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺癌の診断、病態、予後因子、治療に関する研究 3 気管支喘息の診断、病態、治療に関する研究 4 過敏性肺炎、職業病性肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 5 各種呼吸器感染症、結核の診断、病態、治療に関する研究 6 慢性閉塞性肺疾患、閉塞性細気管支炎の診断、病態、治療に関する研究 7 難治性呼吸器疾患、稀少肺疾患の原因探索と新規治療法の研究 8 環境要因と呼吸器疾患の関わりについての研究 9 肺自然免疫と呼吸器疾患の関わりについての研究 10 胸部画像診断技術の複合的応用に関する研究 11 新規医療技術の呼吸器疾患診断への応用に関する研究
	腫瘍・血液内科学講座	1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 6 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 7 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 8 胆道癌に対する動注化学療法の開発 9 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 10 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 11 再生不良性貧血及び骨髄異形成症候群における病態解析 12 造血幹細胞移植における予後因子の探索 13 再生不良性貧血及び骨髄異形成症候群における発症因子の探索 14 赤白血病に対する新規治療法の開発 15 多発性骨髄腫に対する新規治療法の開発 16 悪性リンパ腫に対する新規治療法の開発 17 造血幹細胞移植後のGVHDに対する新規治療法の開発

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門）	神 経 内 科 学 講 座	1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症におけるニューロン死の機序の解明、細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRTファミリーの機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの保護・再髄鞘化に関する研究 8 神経変性疾患関連遺伝子の検索 9 健常者および難治てんかん患者における非侵襲的脳機能マッピングの応用と硬膜下記録による検証 10 若年成人、高齢成人てんかん患者の難治化要因の検討 11 脳卒中及び認知症の医療と福祉に関わる多職種の卒前卒後教育システムの開発 12 北海道における老年医療と看護、介護における広域連携システムの構築 13 脳卒中医療における超音波診断法の開発と人材育成
	消化器・総合、乳 腺・内分泌外科学 座	1 肝不全発生機序と人工肝開発 2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術 3 固形癌に対するがんワクチン免疫療法に関する臨床研究 4 消化器癌術後特異的免疫能変動に関する基礎的・臨床的研究 5 腹腔鏡手術における手術手技および手術器具の研究 6 肝再生医学における遺伝子治療の導入 7 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究 8 膵再生現象と分化誘導に関わる分子学的研究 9 膵の分化と増殖に関わる分子病理学的研究 10 消化器外科学領域へのロボット手術の導入 11 アシアログリコプテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究 12 過冷却超低温技術による全肝臓器保存法の開発研究 13 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究 14 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究 15 大腸癌再発危険因子の基礎的・臨床的研究 16 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究 17 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究
	心臓血管外科学講座	1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法術式確立の研究 3 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 6 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 7 心筋・血管・心臓弁に対する再生法の研究 8 超音波エコーによる脊髄血流評価に関する研究 9 冠動脈バイパス手術における全動脈グラフトの組織学および流体力学的研究 10 ファロー四徴症根治術後肺動脈弁閉鎖不全に対する手術適応に関する研究
	整 形 外 科 学 講 座	1 骨髄間葉系幹細胞を用いた脊髄再生研究 2 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫ワクチン療法の開発 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する電気生理学的研究 6 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究 7 脊椎低侵襲手術の開発 8 各種関節鏡視下手術の開発 9 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 10 スポーツ障害と外傷の予防と治療 11 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 12 アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序に関する研究

講座（臨床医学部門）	脳神経外科学講座	1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 脊髄損傷の基礎研究 5 血管内手術の基礎的研究 6 神経幹細胞移植に関する研究 7 脊髄誘発電位の臨床応用 8 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 9 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 10 てんかんの病態・治療の研究 11 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 12 頭蓋底手術に対する頭頸部微小解剖研究 13 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 14 Selective Laser Sinteringを用いた術前シミュレーションのための疾患模型の開発 15 移植免疫に対する間葉系幹細胞の免疫原性の解析 16 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 17 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 18 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 19 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 20 スtentを用いた脳動脈瘤治療の研究 21 頸動脈stent留置術後の残存潰瘍に関する研究 22 抗血小板薬の効果に関する研究 23 脳梗塞におけるガングリオシドの神経再生への関与 24 もやもや病の画像診断に関する研究 25 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究 26 脳卒中の遠隔画像診断に関する研究 27 Bipolar forcepsの付着に関する研究
	産婦人科学講座	1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 子宮内膜症の分子生物学的検討 8 卵巣癌での薬剤耐性克服 9 婦人科癌細胞の運動能と転移能に関する研究
	小児科学講座	1 RSウイルス感染症に関する研究 2 ロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎に関する研究 3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究 4 パルボウイルスB19感染症に関する研究 5 先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究 6 脊髄性筋萎縮症の遺伝子診断に関する研究 7 レスベラトロールを用いた筋ジストロフィー症の治療研究 8 新しいカテーテルインターベンション法の開発 9 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 10 造血幹細胞移植に関する研究 11 造血幹細胞移植時の移植片対宿主病（GVHD）の診断と治療に関する研究 12 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
	眼科学講座	1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門 ）	皮 膚 科 学 講 座	1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的研究 2 メラニン合成関連遺伝子の構造と機能の研究 3 悪性黒色腫の進展と転移に関わる細胞遺伝子の研究 4 悪性黒色腫の診断と治療に関する臨床研究 5 悪性黒色腫におけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 6 遺伝性皮膚疾患の遺伝子解析 7 色素性乾皮症の迅速遺伝子診断の開発 8 ウイルス性皮膚疾患の病態とイミキモドの作用機序に関する研究 9 皮膚バリア機能に関与するABCトランスポーターの解析 10 日本と海外におけるアトピー性皮膚炎の疫学研究
	泌 尿 器 科 学 講 座	1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 排尿障害の基礎的・臨床的研究 5 尿路感染症・性感染症の疫学的研究と臨床的研究 6 尿路粘膜における感染免疫学 7 尿路再生・再建医学 8 男子性機能の基礎的・臨床的研究 9 男子不妊症の成因と治療の研究 10 腎移植・移植免疫 11 性別適合手術
	耳 鼻 咽 喉 科 学 講 座	1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍の病態・治療法に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究 10 内耳有毛細胞再生に関する研究
	神 経 精 神 医 学 講 座	1 神経新生と神経回路網構築からみた精神疾患（気分障害、統合失調症等）の病態解明に関する研究 2 神経幹細胞を用いた精神疾患に対する新たな治療法の開発に関する研究 3 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究 4 精神疾患における生物学的マーカーに関する研究 5 認知症（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症等）の診断・治療に関する研究 6 コンサルテーション・リエゾン精神医学における疫学的研究と臨床的研究 7 緩和医療における生物学的研究と社会精神医学的研究 8 性同一性障害の心理的および生物学的特徴に関する研究 9 精神疾患における薬物治療の効果と心理社会的背景や生物学的因子との関連に関する研究
	放 射 線 医 学 講 座	<IVR部門> 1 急性期Interventional Radiology (IVR)の他に、IVR oncologyなどの慢性期IVRの手技の改良 2 マイクロバブルを用いた造影超音波による腫瘍内micro flow の解析による種々の悪性腫瘍の空間的・時間的な微細血管構築・血流動態の解明の研究 3 各種塞栓物質の性質の差異による塞栓効果とその臨床的効果の確立 <治療部門> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 3 悪性腫瘍に対するIVR及び化学・放射線併用療法の研究 4 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 5 DNA修復能測定による放射線治療の有害事象の予測に関する研究 6 高精度放射線治療に関する研究 7 画像誘導放射線治療に関する研究

講座（臨床医学部門）	麻 酔 科 学 講 座	1 周術期の疼痛の機序解明と鎮痛薬の有効な使用の基礎・臨床研究 2 癌性疼痛や神経障害性疼痛の機序解明と臨床へのトランスレーション 3 新しい麻酔薬デスフルランの気管支への作用機序の解明 4 心臓や血管内皮に対する麻酔薬の作用機序の解明 5 新しい筋弛緩薬ロクロニウムと拮抗薬スガマデクスの基礎的作用機序の解明 6 海馬における麻酔薬や毒ガスの作用機序の解明 7 敗血症や腸管虚血における病勢予測の新規開発 8 手術患者の麻酔の質を高める画期的モニタの開発と臨床試用 9 超音波ガイドによる末梢神経ブロックや中心静脈穿刺のイノベーション 10 困難気道患者の分析と革新的気道確保技術の研究
	地 域 医 療 総 合 医 学 講 座	1 Common diseases の診断とマネージメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究
	臨床検査医学講座	1 分子機能解析を基盤とした癌の遺伝子診断法に関する研究 2 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究 3 感染症の遺伝子タイピングと院内感染対策への応用に関する研究 4 輸血検査の精度向上に関する研究 5 生体内微量物質の高感度検出法に関する研究 6 生体のストレス応答に関する研究 7 新規超音波検査法を用いた心機能評価に関する研究 8 造影超音波法による肝腫瘍の診断能向上に関する研究
	救 急 医 学 講 座	1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の研究 2 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の研究 3 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 4 高度侵襲時の生体防御反応に関する研究 5 重症患者における急性血液浄化法に関する研究 6 航空機による救急搬送体制の研究 7 災害医療に関する研究 8 中毒薬理に関する研究
	口 腔 外 科 学 講 座	1 口腔癌のペプチドワクチン療法に関する研究 2 口腔癌の選択的動注化学放射線療法に関する研究 3 口腔癌の分子生物学的研究 4 口腔癌の機能温存療法に関する研究 5 口腔癌の低酸素環境下における抗癌剤耐性獲得機序の解析に関する研究 6 顎変形症の形態と機能に関する研究
	リハビリテーション医学講座	1 最新の画像診断技術と病巣研究との融合から高次脳機能に迫る研究 2 三次元動作分析による治療効果判定に関する研究 3 慢性疼痛のメカニズム論に基づく薬物・運動療法に関する研究 4 高齢者の呼吸・嚥下の評価とリハビリテーションに関する研究 5 認知症における生活機能維持へのアプローチに関する研究 6 多モダリティーニューロイメージングを用いた神経ネットワークの解明
医学部附属フロンティア医学研究所	細 胞 科 学 部 門	1 ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明 2 ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究 3 炎症・アレルギー・がんに共通に関与がみられる新規細胞間接着分子の同定 4 肥満によるがんの悪性化機構の解明 5 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明 6 軸索ガイダンス分子の発現機能解析
	ゲノム医科学部門	1 ヒトがんの発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の網羅的変異解析と個別化医療への応用 3 がんにおける細胞周期チェックポイント異常の解析 4 がんの遺伝子治療の基礎研究 5 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立

医学部附属フロンティア医学研究所	組織再生学部門	1 肝幹・前駆細胞の増殖及び成熟化機序の解明 2 小型肝細胞特異的遺伝子及びそのタンパク質の機能解析 3 肝幹・前駆細胞の移植による肝細胞置換と肝疾患治療への応用の試み 4 胎仔及び成体肝幹・前駆細胞を用いたin vitro肝組織形成 5 細胞外基質の肝組織形成における役割 6 胆管などの肝組織構造形成を制御する分子メカニズムの解析
	分子医学部門	1 肺癌等の悪性腫瘍の分子病理学的研究 2 上皮間葉転換が誘導する薬剤抵抗性機構の解明 3 特発性間質性肺炎の分子病理学的研究 4 難治性悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発
	病態情報学部門	1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト臨床試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
	神経再生医療学部門	1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	免疫制御医学部門	1 ヒト免疫細胞の分化、機能調節機序の研究 2 抗原特異的な抗体産生機構の研究 3 エピイムノームの形成機構の研究 4 免疫アレルギー病態の解明と臨床への応用 5 免疫関連病態の研究推進フローの確立
動物実験施設部		1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 抗菌ステロイドによる局所感染の防御と治療に関する研究 4 開発途上国の食品の食中毒菌汚染に対するPCRを用いた調査研究 5 開発途上国における仔牛下痢症の原因に対するPCRを用いた調査研究 6 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 7 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構

看護学科	看護学第一講座	<p><基礎看護学></p> <ol style="list-style-type: none">1 看護倫理教育に関する研究2 看護技術の習得過程における教授学的研究3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究4 看護教育・看護管理に関する歴史的研究5 病院環境における臭気の包括的評価に関する研究 <p><精神看護学></p> <ol style="list-style-type: none">1 精神障害のある人を成員とする家族に関する研究2 子ども虐待における看護援助に関する研究3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究4 精神障害を抱える人の子育てに関する研究5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究6 発達障害をもつ子どもの親へのペアレントトレーニング <p><外科学></p> <ol style="list-style-type: none">1 消化器、乳腺領域における手術療法に関する研究2 癌の集学的治療に関する研究
	看護学第二講座	<p><母性看護学／小児看護学></p> <ol style="list-style-type: none">1 助産師の実践に関する研究2 母性看護学実習に関する研究3 子育て支援に関する研究4 リプロダクティブヘルスに関する研究5 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究6 小児の遊びと発達支援に関する研究7 医療処置をうける子どもへのプレパレーションに関する研究8 児童・生徒に対する喫煙防止教育方法の開発9 小児看護学演習・実習に関する研究 <p><公衆衛生看護学></p> <ol style="list-style-type: none">1 保健師活動の理論と実践に関する研究2 保健師のキャリア発達に関する研究3 不適切な養育（マルトリートメント）の予防と介入に関する研究4 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究5 コミュニティ・アセスメントに関する研究 <p><疫学></p> <ol style="list-style-type: none">1 前立腺がんの環境・宿主要因に関する疫学的研究2 イソフラボンとエコール産性能に関する研究3 精油嗅覚刺激による自律神経活動、脳波に関する研究4 高齢者の活動性賦活に関する研究

看護学 学科	看護学第三講座	<在宅看護学> 1 母子保健活動における看護職の支援技術、子ども虐待における父親の特性に関する研究 2 政策に関する保健師教育カリキュラムの開発、保健師指導者の現任教育に関する研究 3 労働者を対象としたストレスマネジメントプログラムの効果に関する介入研究 4 看護大学の在宅看護分野における看護技術教育のコアカリキュラムの指導と評価 5 在宅における終末期高齢者と家族介護者への食支援に関する研究 <老年看護学> 1 高齢者のせん妄の発症リスクや予防ケアに関する研究 2 認知症高齢者のリロケーション・ダメージに関する研究 3 地域における認知症予防・早期発見および生活援助に関する研究 4 軽症脳卒中患者の退院後の生活援助に関する研究 5 老年看護教育における高齢者理解を促進するための教授法に関する研究 <成人看護学> 1 クリティカル看護とその教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 救急医療従事者の心身の健康に関する研究 4 慢性病患者・がん患者の病いに関する研究 <内科学> 1 メタボリックシンドローム、生活習慣病に関する臨床疫学研究 2 動脈硬化進展に関する新規分子マーカーの検索 3 高血圧、糖尿病の病態生理に関する研究 4 自律神経と動脈硬化性疾患に関する研究
	理学療法学第一座	1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 3 脳卒中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 4 高齢者の運動機能と健康の関係 5 高齢者の動作・運動制御に関する研究 6 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究、固有受容性神経筋促通治療学（P.N.F）の研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明及びその治療法の開発 8 癌患者に対する身体活動介入と化学療法の副作用軽減に関する研究
理学療法学 学科	理学療法学第二座	1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 ヒト骨格形態の進化的研究 5 人類集団の移動と環境適応についての人類学的研究 6 四肢関節・靱帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 7 感覚と運動の仕組み、及びそれらを応用した治療に関する神経科学的研究 8 運動器疾患の予防と治療のための運動学的及び疫学的研究 9 スポーツに関する神経科学的研究 10 医用画像による運動器障害理学療法評価に関する研究 11 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 12 身体運動時の骨格筋機能に関する研究 13 運動時の呼吸循環応答、及び内部障害に関する運動生理学的研究

作業療法学科	作業療法学第一座講	1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法および作業科学の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 末梢神経・筋疾患に対する作業療法の評価および治療効果に関する電気生理学的研究 7 運動器疾患に対する作業療法開発のための基礎研究 8 高次脳機能障害に対する作業療法の評価および治療介入効果に関する研究 9 内部障害に対する作業療法の研究
	作業療法学第二座講	1 発達障害の障害構造の解明および治療方法の確立 2 中枢神経系・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害の認知特性と社会適応に関する研究 4 前頭連合野の機能解明とそのリハビリテーションに関する研究 5 発達障害児における不器用さの評価および治療方法に関する研究 6 障害児・者の日常生活支援に関わる補装具の開発 7 社会的認知の臨床神経心理学的研究 8 認知症患者に対する地域支援方略に関する研究

ウ 医療人育成センター

教 養 教 育 科 目	哲 学 ・ 倫 理 学	1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 西洋哲学の古典研究
	心 理 学	1 心理社会的ストレスの心理生理学および行動医学研究 2 心臓血管系血行力学及び自律神経調整機能無侵襲計測の開発と応用 3 血管健康マーカーの開発と応用 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 医療と法学に関する諸テーマの研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理 4 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学研究 5 日本、アメリカ、イギリスの医学・医療系教育 6 子どもの身体観・健康観・医療観と医療環境とのかかわりに関する医療人類学的研究
	英 語	1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論 3 日本学、日米比較文化論
	運 動 科 学	1 生活習慣病の予防及び体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者の医療費、ADL低下の抑制と健康習慣の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、並びに摂食障害に関する研究
	物 理 学	1 放射線防護と緊急被曝医療 2 国民保護のための核防護学 3 医学物理
	化 学	1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 非侵襲的生理イメージングの研究 3 磁気共鳴手法を用いた分子イメージング研究
	生 物 学	1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 ライブセルイメージングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析
	数 学 ・ 情 報 科 学	1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論 3 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 4 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究 5 高精度反応時間計測システムの研究開発と臨床応用 6 タブレット等の情報通信機器の利活用に関する研究

エ 寄附講座

分子標的探索講座	1 がん細胞におけるTGF β /PP2A/P53シグナルの解明に基づくがんの治療法の開発（橋渡し研究） 2 がん細胞・炎症細胞、血管内皮細胞のモテリティシグナルの解明に基づくがん転移、慢性炎症の治療法の開発（橋渡し研究） 3 がん随伴繊維芽細胞を標的とした新規がん治療法の開発 4 膵がんの集学的遺伝子治療 5 大腸がんの化学予防に関する研究 6 組織リモデリングにともなう幹細胞活性化の機構解明
生体工学・運動器治療開発講座	1 運動器疾患に対する新しい治療法の開発 2 人工関節置換術を用いた治療成績向上の戦略 3 関節疾患における生体工学的機能解析
アイン・ニトリ緩和医療学推進講座	1 緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療に関する研究 2 緩和医療に携わる医療者の人材育成に関する研究 3 がん患者・家族の全人的な苦痛・苦悩へのアプローチに関する研究 4 がん患者包括的アセスメントの必要性とコ・ワーカーとしての業務創出 5 地域への啓蒙と知識の還元（公開講座，学習会，セミナー開催）
再生治療推進講座	1 治験薬製造の効率化に係る技術開発 2 品質検査の確立 3 実用化のための製造方法検討 4 原料と製品の搬送条件検討及び搬送器具の開発 5 製品の安定性評価
糖尿病細胞療法講座	1 糖尿病で起こる骨髄間葉系幹細胞(MSC)異常の解析と賦活化法の検討 2 MSC の効果的投与方法に関する検討 3 薬事戦略相談（PMDA）に応じた非臨床試験実施

オ 特設講座

オホーツク医療環境研究講座	1 医師の地域偏在の課題解析及び対応策の研究 2 地域医療を担う医師を養成するための研修プログラム、研究カリキュラムの研究及び策定 3 地域の医師不足を補う手法の研究 4 地域医療を担う医師の養成と実施教育 5 地域医療に従事する医師への支援 6 札幌医科大学専門看護師教育課程への看護師派遣 7 地域病院における看護水準向上のための研修会の開催 8 心臓リハビリテーション指導士の養成と地域のリハビリテーション水準の向上のための教育手法の研究及び実施 9 理学療法士等の総合的理学療法、発達障害患者のケアに関する教育研究及び実施 10 作業療法士の手の外科に対する作業療法（ハンドセラピー）に関する教育研究及び実施
道民医療推進学講座	1 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究 2 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究 3 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立 4 地域の医療水準を向上するためのコメディカルに対する教育・指導法の研究及び実践 5 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床 6 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践
南檜山周産期環境研究講座	1 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究 2 地域において産科医師が安全に分娩業務を行う体制の構築に係る研究 3 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究 4 産科医・麻酔科医連携に関する調査・研究 5 地域における周産期医療水準の向上に係る調査・研究
がん疼痛緩和医療学講座	1 がん疼痛の機序解明に関する臨床および基礎研究 2 がん疼痛の制御に関連する臨床および基礎研究 3 がんおよびその治療に伴う諸症状の緩和に関する研究 4 がんおよび症状治療に伴う苦痛の軽減に関する研究 5 緩和医療医の育成と適切な地域医療への配置に関する研究

(9) 文部科学省 G P の採択・実施状況

(平成26年10月 1 日現在)

ア 平成 24 年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(ア) 事業名：北海道がん医療を担う医療人養成プログラム

(イ) 年 次：平成 24 年度～平成 28 年度

(ウ) 概 要：道内 4 つの医療系大学（札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学）が地域の医療機関と連携して、チーム医療研修、カンファレンスなどを行い、遠隔地の医療機関に従事するがん専門医療人に対して、高度ながん専門教育を受けられるようにし、地域のがん専門医療人の養成とがん医療人レベルの向上を図り、さらに、臨床を出発点とした最先端のがん研究の基盤づくりを推進する。

○北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

イ 平成24年度基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成事業

【医学・医療の高度化の基礎を担う基礎研究医の養成事業】

(ア) 事業名：死後画像診断力のある死因究明医養成プラン

(イ) 年 次：平成 24 年度～平成 28 年度

(ウ) 概 要：初期臨床研修医を対象とした死因究明医専修プログラムを設置し、死因究明医の育成を図るとともに、そのプログラムに死後画像診断演習を加え求められるスキルを取得する。

【グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実】

(ア) 事業名：地域拠点と連携による I C T 連動型臨床実習

(イ) 年 次：平成 24 年度～平成 28 年度

(ウ) 概 要：臨床実習期間の延長と地域での長期実習に向けた取組を進め、実習を通じて多職種連携と医師の役割を学び、コミュニケーション能力を身に付けることで、患者等に対し配慮できる医師の育成を図る。

ウ 平成25年度未来医療研究人材養成拠点形成事業

(ア) 事業名：北の地域医療を支える総合診療医養成プラン

(イ) 年 次：平成 25 年度～平成 29 年度

(ウ) 概 要：総合診療医の育成に取り組むプログラム（学部教育から初期・卒後臨床研修まで一貫した人材育成プログラム）を実施して、地域医療の現場で診察に従事しながら科学的解析、研究成果が発揮できるリサーチマインドを持った総合診療医の育成強化を図る。

(10) 国際交流

ア 国際医学交流

北方圏諸国をはじめとする世界の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的な視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学語学研修への派遣、平成21年度から中国医科大学との臨床実習及び平成23年度から韓国カトリック大学との臨床実習について、相互交流を実施している。

(平成26年10月1日現在)

		フィンランド	カナダ	中国		アメリカ	韓国
協定締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トリム、 オウル、タンペレ、 クレオ大学)	アルバータ 大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセッツ州立 大学	韓国カトリッ ク大学
開始年度		1977	1983	1984	2008	1994	2011
現協定期限		H24.5-29.5	H26.2-31.2	H25.4-28.3	H26.4-29.3	H25.9-28.8	H26.5-27.5
派遣	協定人数 (年間)	1名 (1～2ヶ月)	2名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	派遣総数	37名	40名	45名	6名	24名	
受入	協定人数 (年間)	1名 (1～2ヶ月)	1名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	受入総数	36名	29名	44名	4名	9名	
その他 協定の概要		・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配する。)					
学生派遣			【語学研修】 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名 19年度 8名 20年度 9名 21年度 中止 22年度 10名 23年度 8名 24年度 8名 25年度 8名 26年度 12名	【臨床実習】 21年度 中止 22年度 2名 23年度 2名 24年度 中止 25年度 2名			【臨床実習】 23年度 2名 24年度 2名 25年度 2名

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている（日本人、外国人の区別はない）。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。

従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度12名 平成14年度15名 平成15年度18名 平成16年度13名 平成17年度17名
平成18年度10名 平成19年度15名 平成20年度13名 平成21年度7名 平成22年度5名
平成23年度6名 平成24年度3名 平成25年度6名

ウ 教員在外研究等

(平成26年3月31日現在)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	24年度	25年度		24年度	25年度		24年度	25年度
【アジア】			【中東】			【ヨーロッパ】		
インド	2	3	トルコ	2	3	イギリス	5	8
インドネシア	2	4	【アフリカ】			イタリア	5	10
韓国	13	25	ブルキナファソ			オーストリア	7	5
シンガポール		3	南アフリカ共和国	1		オランダ	4	6
カンボジア	1	2	【オセアニア】			ギリシャ	2	1
タイ	10	5	オーストラリア	8	5	スウェーデン	5	2
台湾	4	6	【北米】			スペイン	2	9
中国	16	14	アメリカ合衆国	83	85	チェコ		2
パングラデシュ	1	2	カナダ	3	7	ドイツ	9	9
ベトナム	2	1	【中南米】			ノルウェー		
マレーシア	1	3	アルゼンチン			フランス	10	4
ミャンマー		2	プエルトリコ			ベルギー		
フィリピン	2	3	メキシコ			ポルトガル	1	
スリランカ	1					マルタ		
ネパール		3				スイス	2	2
モンゴル		1				ポーランド		3
						ロシア		1
						合 計	204	239

エ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- (1) 会議室（1室）、研修室（2室）
- (2) 多目的ホール（2室）
- (3) 宿泊室（シングル3室、ツイン1室）

(11) 標 本 館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三橋 公 平 (解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島 信之助 (法医学講座教授)
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊地 浩 吉 (病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山崎 英 雄 (生物学教授)
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫 (病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百々 幸 雄 (解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高橋 杏 三 (解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森田 匡 彦 (法医学講座教授)
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐藤 昇 志 (病理学第一講座教授)
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤田 典 均 (病理学第二講座教授)
平成18年4月1日－平成22年3月31日	辰巳 治 之 (解剖学第一講座教授)
平成22年4月1日－平成25年3月31日	松本 博 志 (法医学講座教授)
平成25年4月1日－現 在	藤 宮 峯 子 (解剖学第二講座教授)

イ 概況

(平成26年10月1日現在)

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,326
模型	人体解剖模型 化石人骨模 ムラージュ 動物模型	129
光顕用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	41,773
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー・検眼鏡・顕微鏡の変遷他	536
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	117
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	947
他の医学関係資料	パネル・写真・薬袋 大学関係資料他	473
合 計		45,301

ウ 利用状況

(平成25年度 単位:人)

利用の内訳	標本見学	視聴覚学習	自習コーナー (顕微鏡・情報機器など)
学内者	483	6	76
学外者	3,146	1,733	342
計	3,629	1,739	418

2 学事事項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

区 分 年 度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
	人	人		人	人		人	人		人	人		
昭和25年度	69	44	1.57										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							
昭和34年度		58		996	66	15.09							
昭和35年度				995	68	14.63							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				
昭和63年度							655	100	6.55				昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	平成2年度から大学入試センター試験実施
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	
平成24年度							565	110	5.14	249	90	2.77	
平成25年度							591	110	5.37	199	90	2.21	
平成26年度							565	110	5.14	181	90	2.01	

イ 定員及び現員数

(平成26年 5 月 1 日現在 単位：人)

学 部		入 学 員	1 年 員			2 年 員			3 年 員			4 年 員			5 年 員			6 年 員			計	
			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員	
医学部	医 学 科	110	117 (37)			110 (32)			112 (33)			113 (36)			108 (29)			105 (26)			665 (193)	
保健医療学部	看 護 学 科	50	50 (47)			50 (45)			48 (43)			52 (46)									200 (181)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		50 (47)			50 (45)			48 (43)			52 (46)									200 (181)	
	理 学 療 法 学 科	20	20 (9)			20 (6)			20 (9)			20 (6)									80 (30)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		20 (9)			20 (6)			20 (9)			20 (6)									80 (30)	
	作 業 療 法 学 科	20	20 (11)			22 (15)			18 (10)			20 (13)									80 (49)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		20 (11)			22 (15)			18 (10)			20 (13)									80 (49)	
	編 入 学 生 総 計	90	0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	小 計		90 (67)			92 (66)			86 (62)			92 (65)									360 (260)	
学 部 合 計		200	207 (104)			202 (98)			198 (95)			205 (101)			108 (29)			105 (26)			1,025 (453)	
医学研究科	博 士 課 程	50	54 (7)			57 (9)			50 (10)			55 (9)			0 0			0 0			216 (35)	
	地域医療人間総合医学	18	19 (4)			17 (1)			21 (8)			14 (1)									71 (14)	
	分子・器官制御医学	20	25 (2)			33 (8)			21 (0)			28 (5)									107 (15)	
	情報伝達学	12	10 (1)			7 (0)			8 (2)			13 (3)									38 (6)	
	修 士 課 程	10	6 (1)			1 (1)															7 (2)	
	医 科 学	10	6 (1)			1 (1)															7 (2)	
	小 計	60	60 (8)			58 (10)			50 (10)			55 (9)			0 (0)			0 (0)			223 (37)	
	保 健 医 療 学 部	博士課程前期	12	2 (1)		15 (12)			()			()			()			0 (0)			17 (13)	
保健医療学研究科	看 護 学	博士課程後期	2	3 (3)		3 (2)			8 (8)			()			()			0 (0)			14 (13)	
	理学療法学・作業療法学	博士課程前期	12	13 (1)		10 (2)			(0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)			23 (3)	
		博士課程後期	6	3 (0)		2 (1)			20 (3)			()			()			()			25 (4)	
	小 計	32	21 (5)			30 (17)			28 (11)			0 (0)			0 (0)			0 (0)			79 (33)	
大 学 院 合 計		92	81 (13)			88 (27)			78 (21)			55 (9)			0 (0)			0 (0)			302 (70)	
助 産 学 専 攻 科		20	20 (20)																		20 (20)	
総 合 計		312	308 (137)			290 (125)			276 (116)			260 (110)			108 (29)			105 (26)			1,347 (543)	

※ () 内は女子学生数 (内数)

ウ 出身地別現員数

(平成26年 5 月 1 日現在)

課 程		出身地	1 年			2 年			3 年			4 年		
			道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計
医 学 部	人		84	33	117	67	43	110	66	46	112	75	38	113
	%		71.8	28.2	100.0	60.9	39.1	100.0	58.9	41.1	100.0	66.4	33.6	100.0
保 健 医 療 学 部	人		88	2	90	86	6	92	83	3	86	86	6	92
	%		97.8	2.2	100.0	93.5	6.5	100.0	96.5	3.5	100.0	93.5	6.5	100.0
医 学 研 究 科	人		49	11	60	46	12	58	42	8	50	44	11	55
	%		81.7	18.3	100.0	79.3	20.7	100.0	84.0	16.0	100.0	80.0	20.0	100.0
保 健 医 療 学 部	人		20	1	21	25	5	30	16	12	28			
研 究 科	%		95.2	4.8	100.0	83.3	16.7	100.0	57.1	42.9	100.0			
助 産 学 専 攻 科	人		18	2	20									
	%		90.0	10.0	100.0									
計	人		259	49	308	224	66	290	207	69	276	205	55	260
	%		84.1	15.9	100.0	77.2	22.8	100.0	75.0	25.0	100.0	78.8	21.2	100.0

課 程		出身地	5 年			6 年			道 内 計	道 外 計	合 計
			道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計			
医 学 部	人		65	43	108	70	35	105	427	238	665
	%		60.2	39.8	100.0	66.7	33.3	100.0	64.2	35.8	100.0
保 健 医 療 学 部	人								343	17	360
	%								95.3	4.7	100.0
医 学 研 究 科	人				0			0	181	42	223
	%				0.0			0.0	81.2	18.8	100.0
保 健 医 療 学 部	人				0			0	61	18	79
研 究 科	%				0.0			0.0	77.2	22.8	100.0
助 産 学 専 攻 科	人								18	2	20
	%								90.0	10.0	100.0
計	人		65	43	108	70	35	105	1,030	317	1,347
	%		60.2	39.8	100.0	66.7	33.3	100.0	76.5	23.5	100.0

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区 分 卒業年次				卒 業 生	出身地		区 分 卒業年次				卒 業 生	出身地	
					道内	道外						道内	道外
昭和29年（第1回）				36	22	14	平成6年（第41回）				99	79	20
昭和30年（第2回）				41	35	6	平成7年（第42回）				91	70	21
昭和31年（第3回）				47	41	6	平成8年（第43回）				100	74	26
昭和32年（第4回）				66	58	8	平成9年（第44回）				101	74	27
昭和33年（第5回）				69	60	9	平成10年（第45回）				100	66	34
昭和34年（第6回）				58	49	9	平成11年（第46回）				102	80	22
昭和35年（第7回）				67	54	13	平成12年（第47回）				100	58	42
昭和36年（第8回）				62	54	8	平成13年（第48回）				109	60	49
昭和37年（第9回）				59	35	24	平成14年（第49回）				99	58	41
昭和38年（第10回）				59	32	27	平成15年（第50回）				94	62	32
昭和39年（第11回）				63	54	9	平成16年（第51回）				101	74	27
昭和40年（第12回）				65	58	7	平成17年（第52回）				103	72	31
昭和41年（第13回）				66	54	12	平成18年（第53回）				95	60	35
昭和42年（第14回）				62	58	4	平成19年（第54回）				103	67	36
昭和43年（第15回）				62	58	4	平成20年（第55回）				103	73	30
昭和44年（第16回）				80	71	9	平成21年（第56回）				100	62	38
昭和45年（第17回）				74	63	11	平成22年（第57回）				97	75	22
昭和46年（第18回）				78	63	15	平成23年（第58回）				101	76	25
昭和47年（第19回）				73	60	13	平成24年（第59回）				100	75	25
昭和48年（第20回）				69	55	14	平成25年（第60回）				98	69	29
昭和49年（第21回）				84	74	10	平成26年（第61回）				102	73	29
昭和50年（第22回）				77	57	20							
昭和51年（第23回）				65	54	11							
昭和52年（第24回）				80	62	18							
昭和53年（第25回）				92	74	18							
昭和54年（第26回）				90	81	9							
昭和55年（第27回）				94	84	10							
昭和56年（第28回）				95	81	14							
昭和57年（第29回）				95	84	11							
昭和58年（第30回）				107	96	11							
昭和59年（第31回）				99	87	12							
昭和60年（第32回）				94	90	4							
昭和61年（第33回）				97	90	7							
昭和62年（第34回）				86	75	11							
昭和63年（第35回）				89	79	10							
平成元年（第36回）				116	96	20							
平成2年（第37回）				92	79	13							
平成3年（第38回）				101	85	16							
平成4年（第39回）				99	84	15							
平成5年（第40回）				107	87	20							
							合 計		5,213	4,090	1,123		

イ 保健医療学部

(単位：人)

卒業年次	区 分	看 護 学 科 卒 業 生 数	理学療法学科 卒 業 生 数	作業療法学科 卒 業 生 数	卒業生数合計	出 身 地	
						道 内	道 外
平成 9 年（第 1 回）		48	21	19	88	76	12
		(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 10 年（第 2 回）		51	25	22	98	72	26
		(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成 11 年（第 3 回）		61	21	20	102	71	31
		(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 12 年（第 4 回）		54	23	23	100	78	22
		(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成 13 年（第 5 回）		58	22	24	104	79	25
		(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 14 年（第 6 回）		54	24	21	99	76	23
		(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成 15 年（第 7 回）		57	27	24	108	93	15
		(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 16 年（第 8 回）		53	23	21	97	83	14
		(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 17 年（第 9 回）		52	21	23	96	83	13
		(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 18 年（第 10 回）		49	30	21	100	85	15
		(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成 19 年（第 11 回）		56	23	23	102	91	11
		(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(0)
平成 20 年（第 12 回）		49	22	21	92	82	10
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 21 年（第 13 回）		52	18	19	89	84	5
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 22 年（第 14 回）		55	23	22	100	89	11
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 23 年（第 15 回）		52	21	23	96	93	3
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 24 年（第 16 回）		50	21	21	92	86	6
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 25 年（第 17 回）		49	18	20	87	80	7
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 26 年（第 18 回）		47	20	22	89	87	2
		(57)	(21)	(16)	(94)	(77)	(17)
合 計		947	403	389	1,739	1,488	251

※ 1 出身地は学位記記載の本籍地による ※ 2 () 内は編入学生数（内数）

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98 回 (平成 16 年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成 17 年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第 100 回 (平成 18 年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第 101 回 (平成 19 年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第 102 回 (平成 20 年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第 103 回 (平成 21 年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第 104 回 (平成 22 年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第 105 回 (平成 23 年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2
第 106 回 (平成 24 年)	100	100	92	92.0	7	5	71.4	107	97	90.7
第 107 回 (平成 25 年)	98	98	92	93.9	10	8	80.0	108	100	92.6
第 108 回 (平成 26 年)	103	103	102	99.0	8	4	50.0	111	106	95.5

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93 回 (平成 16 年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成 17 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 95 回 (平成 18 年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第 96 回 (平成 19 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 97 回 (平成 20 年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 98 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 99 回 (平成 22 年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0
第 100 回 (平成 23 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 101 回 (平成 24 年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0
第 102 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 103 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90 回 (平成 16 年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成 17 年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第 92 回 (平成 18 年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成 19 年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成 20 年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第 95 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96 回 (平成 22 年)	55	55	54	98.2	0	0	0.0	55	54	98.2
第 97 回 (平成 23 年)	52	51	50	98.0	0	0	-	51	50	98.0
第 98 回 (平成 24 年)	50	50	49	98.0	2	1	50.0	52	50	96.2
第 99 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	-	49	49	100.0
第 100 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0

工 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第41回（平成18年）	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第42回（平成19年）	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第43回（平成20年）	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第44回（平成21年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第45回（平成22年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第46回（平成23年）	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第49回（平成26年）	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0

才 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第41回（平成18年）	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第42回（平成19年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第43回（平成20年）	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第44回（平成21年）	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第45回（平成22年）	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第46回（平成23年）	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第49回（平成26年）	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0

力 助産師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第96回（平成25年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第97回（平成26年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0

(4) 研究生数

(平成26年5月1日現在 単位：人)

区分	研 究 科 目	人 数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研 究 科 目	人 数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学	解剖学第一	3	1	医学部臨床医学	消化器・免疫・リウマチ内科学	5	4
	解剖学第二	1	1		循環器・腎臓・代謝内分泌内科学	25	14
	細胞生理学				呼吸器・アレルギー内科学	10	9
	神経科学				腫瘍・血液内科学	1	
	医化学	1			神経内科学	7	5
	分子生物学				消化器・総合・乳腺・内分泌外科学	1	1
	病理学第一	1			心臓血管外科学		
	病理学第二	1			整形外科学	1	1
	微生物学				脳神経外科学		
	薬理学				産婦人科学		
	衛生学				小児科学	13	9
	公衆衛生学	1			眼科学	1	
	法医学				皮膚科学	1	1
	医科知的財産管理学				泌尿器科学		
	遺伝医学				耳鼻咽喉科学	4	
	フロンティア細胞科学				神経精神医学	1	1
	フロンティアゲノム医科学				放射線医学		
	フロンティア組織再生学	1			麻酔科学	1	
	フロンティア分子医学				地域医療総合医学	1	1
	フロンティア病態情報学	1			臨床検査医学		
保健医療学部	フロンティア神経再生医療学			医学部臨床医学	救急医学	9	5
	フロンティア免疫制御医学				口腔外科学	3	2
	教育研究機器センター				リハビリテーション医学	1	
	動物実験施設部				産科周産期科学		
学	附属総合情報センター	1		医学部臨床医学	形成外科学	1	1
	基礎医学計	11	2		医療薬学		
保健医療学部	看護学			医学部臨床医学	病理診断学		
	理学療法学				放射線診断学	4	
	作業療法学				病院管理学		
	保健医療学部計	0	0		集中治療医学	1	
医療人育成センター計		0	0	学	呼吸器外科学		
					臨床医学計	91	54
					医学部計	102	56
合 計				合 計		102	56

(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数

区分 専攻 年度	修士課程	本学大学院修了者（博士課程）									一般論文提出者	合計
	医学科	生理解系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	総地域医療人文学	御分子・器官学	制情御報医伝学達	計		
昭和34年度～平成12年度		49	81	16	228	297				671	1,325	1,996
平成13年度		1			11	16				28	48	76
平成14年度		3	2		11	16				32	37	69
平成15年度			3		11	18				32	43	75
平成16年度					1	2	14	26	4	47	43	90
平成17年度							17	33	2	52	19	71
平成18年度					1		13	19	17	50	17	67
平成19年度							4	11	5	20	30	50
平成20年度							10	16	5	31	21	52
平成21年度	7						10	11	7	28	17	52
平成22年度	8						11	12	7	30	4	42
平成23年度	9						8	22	6	36	17	62
平成24年度	8						8	29	8	45	8	61
平成25年度	5						13	15	12	40	5	50
計	37	53	86	16	263	349	108	194	73	1,142	1,634	2,813

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数

年度	区 分	本 学 大 学 院 修 了 者						提一 般 出 論 者文	合 計
		修 士 課 程			博 士 課 程				
	専 攻	看護学	理学療法学・作業療法学	看護学	理学療法学・作業療法学				
	学 位	看護学	理学療法学	作業療法学	看護学	理学療法学	作業療法学		
平成 11 年度		9	6	3				0	18
平成 12 年度		6	4	3				0	13
平成 13 年度		4	5	5				0	14
平成 14 年度		8	8	3		1	3	0	23
平成 15 年度		6	2	3		2	1	0	14
平成 16 年度		6	6	7		1	1	0	21
平成 17 年度		7	7	4		4	1	0	23
平成 18 年度		5	7	3		2	4	0	21
平成 19 年度		7	9	3		3	2	0	24
平成 20 年度		8	3	7	2		1	0	21
平成 21 年度		4	7	3	0	1	3	0	18
平成 22 年度		3	8	6	1	3	3	0	24
平成 23 年度		4	8	3	1	2	1	1	20
平成 24 年度		5	8	3		3			19
平成 25 年度		3	8	3	1	4	3	0	22
計		85	96	59	5	26	23	1	295

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和 7 年 3 月 28 日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年 4 月 1 日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年 4 月 1 日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年 4 月 1 日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年 3 月 31 日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年 7 月 1 日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年 2 月 1 日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年 1 月 23 日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年 3 月 31 日	新外来棟建築第 1 期工事落成
昭和37年 6 月 21 日	新外来棟建築第 2 期工事・中央棟第 1 期工事落成
昭和37年 7 月 11 日	臨床講堂新築
昭和38年 7 月 15 日	南棟新築第 1 期工事落成
昭和39年 8 月 3 日	南棟新築第 2 期工事落成
昭和39年12月 1 日	中央棟第 2 期工事落成
昭和45年 2 月 1 日	副院長制（2 人）施行
昭和50年11月 1 日	放射線管理室設置
昭和54年 5 月 26 日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年 4 月 1 日	附属病院がん研究内科が第 4 内科に名称変更
昭和58年 7 月 2 日	附属病院新棟第 1 期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年 8 月 1 日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年 9 月 6 日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年 7 月 1 日	附属病院新棟第 2 期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年 4 月 1 日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年 7 月 28 日	附属病院新棟第 2 期工事（外構工事）完成
平成 4 年 4 月 1 日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成 5 年 4 月 1 日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成 8 年 3 月 27 日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成 8 年 4 月 1 日	特定機能病院承認
平成 9 年 1 月 7 日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成10年 4 月 1 日	総合診療科を新設
平成14年 4 月 1 日	救命救急センターを設置
平成14年10月 1 日	高度救命救急センターを設置
平成15年 9 月 1 日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年 4 月 1 日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年 9 月 27 日	「病院機能評価」認定
平成18年 2 月 1 日	N I C U を設置
平成19年 4 月 1 日	北海道公立大学法人へ移行
平成21年 4 月 1 日	がん診療連携拠点病院指定
平成21年 8 月 24 日	肝疾患診療連携拠点病院指定
平成23年 4 月 1 日	神経再生医療科を新設し、放射線科を放射線治療科及び放射線診断科に改正
平成24年 9 月 1 日	第 2 外科を心臓血管外科及び呼吸器外科に改正
平成25年 4 月 1 日	医療連携・総合相談センターを設置
平成25年11月 1 日	臨床遺伝外来を設置

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	—	昭和35年3月31日	瀧本庄藏
昭和35年4月1日	—	昭和39年3月31日	南浦邦夫
昭和39年4月1日	—	昭和41年3月31日	高山坦三
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	末吉利三
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	浜谷松夫
昭和49年4月1日	—	昭和51年3月31日	立野誠吾
昭和51年4月1日	—	昭和53年3月31日	橋場輝芳
昭和53年4月1日	—	昭和55年2月8日	河邨文一郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年2月29日	神村瑞夫
昭和55年3月1日	—	昭和57年3月31日	神村瑞夫
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	漆崎一朗
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日	熊本悦明
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	小松作藏
平成2年3月1日	—	平成4年2月8日	谷内昭
平成4年2月9日	—	平成4年2月29日	谷内昭
平成4年3月1日	—	平成8年2月29日	飯村攻
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	形浦昭克
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	千葉峻三
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	工藤隆一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	並木昭義
平成16年3月1日	—	平成20年3月31日	島本和明
平成20年4月1日	—	平成24年3月31日	塚本泰司
平成24年4月1日	—	平成26年3月31日	平田公一
平成26年4月1日	—	現 在	山下敏彦

(事務代理)

(事務代理)

(事務取扱)

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門	外来部門			入院部門		
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
第一内科		32,941	33,188	32,882	18,596	18,703	17,446
第二内科		47,055	46,089	45,305	18,095	18,087	17,949
第三内科		15,549	13,419	13,199	14,525	14,212	14,420
第四内科		22,227	22,412	21,820	24,108	24,803	23,141
神経内科		10,182	10,030	10,210	8,853	9,602	10,880
第一外科		17,881	15,458	15,173	17,892	17,512	17,472
第二外科※1		6,132	6,023	545	12,329	12,709	1,140
心臓血管外科※1		—	—	3,694	—	—	7,910
呼吸器外科※1		—	—	1,535	—	—	3,611
整形外科		31,230	31,547	32,677	18,643	19,001	18,158
脳神経外科		11,692	9,106	8,691	13,837	12,817	13,051
婦人科		20,332	20,655	21,585	14,172	15,724	16,127
産科周産期科		4,642	5,588	5,405	11,363	11,322	11,435
小児科		15,261	14,398	14,179	9,030	8,429	10,037
眼科		28,310	28,550	29,731	12,743	12,867	13,643
皮膚科		28,925	28,762	30,378	9,682	9,417	9,640
形成外科		6,515	7,553	6,925	6,206	6,979	7,781
泌尿器科		20,223	19,802	20,167	11,421	11,705	10,288
耳鼻咽喉科		23,354	22,653	23,096	11,613	12,498	12,023
神経精神科		26,853	24,952	25,814	12,443	13,018	12,540
放射線治療科		26,368	19,492	19,559	12,916	13,484	12,887
放射線診断科		13,909	20,499	9,283	6	3	0
麻酔科		9,947	9,566	10,665	915	917	1,203
総合診療科		4,390	5,554	5,588	3	0	0
歯科口腔外科		25,112	23,819	22,975	11,028	10,826	10,411
リハビリテーション科		45,356	44,223	46,133	6,796	6,020	5,729
神経再生医療科		133	175	212	0	0	314
臨床遺伝外来※2		—	—	34	—	—	—
高度救命救急センター※3		1,631	1,448	1,470	6,759	7,227	7,292
集中治療部(再掲)※3		0	0	0	1,734	1,458	1,597
計		496,150	484,961	478,930	283,974	287,882	286,528

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度も各部門毎の算出データはあり)。なお、集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門	外来部門			入院部門		
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
第一内科		135.0	135.5	134.8	50.8	51.2	47.8
第二内科		192.8	188.1	185.7	49.4	49.6	49.2
第三内科		63.7	54.8	54.1	39.7	38.9	39.5
第四内科		91.1	91.5	89.4	65.9	68.0	63.4
神経内科		41.7	40.9	41.8	24.2	26.3	29.8
第一外科		73.3	63.1	62.2	48.9	48.0	47.9
第二外科※1		25.1	24.6	26.0	33.7	34.8	38.0
心臓血管外科※1		—	—	16.6	—	—	23.6
呼吸器外科※1		—	—	6.9	—	—	10.8
整形外科		128.0	128.8	133.9	50.9	52.1	49.7
脳神経外科		47.9	37.2	35.6	37.8	35.1	35.8
婦人科		83.3	84.3	88.5	38.7	43.1	44.2
産科周産期科		19.0	22.8	22.2	31.0	31.0	31.3
小児科		62.5	58.8	58.1	24.7	23.1	27.5
眼科		116.0	116.5	121.8	34.8	35.3	37.4
皮膚科		118.5	117.4	124.5	26.5	25.8	26.4
形成外科		26.7	30.8	28.4	17.0	19.1	21.3
泌尿器科		82.9	80.8	82.7	31.2	32.1	28.2
耳鼻咽喉科		95.7	92.5	94.7	31.7	34.2	32.9
神経精神科		110.1	101.8	105.8	34.0	35.7	34.4
放射線治療科		108.1	79.6	80.2	35.3	36.9	35.3
放射線診断科		57.0	83.7	38.0	0.0	0.0	0.0
麻酔科		40.8	39.0	43.7	2.5	2.5	3.3
総合診療科		18.0	22.7	22.9	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科		102.9	97.2	94.2	30.1	29.7	28.5
リハビリテーション科		185.9	180.5	189.1	18.6	16.5	15.7
神経再生医療科		0.5	0.7	0.9	0.0	0.0	0.9
臨床遺伝外来※2		—	—	0.4	—	—	—
高度救命救急センター※3		6.7	5.9	6.0	18.5	19.8	20.0
集中治療部(再掲)※3		0.0	0.0	0.0	4.7	4.0	4.4
計		2,033.4	1,979.4	1,962.8	775.9	788.7	785.0

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度も各部門毎の算出データはあり)。なお、集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

年 度		平 成 23 年 度			平 成 24 年 度			平 成 25 年 度		
区 分		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単 純 撮 影	31,549	35,889	67,438	30,754	35,001	65,755	31,305	37,454	68,759
	断 層 撮 影			0			0			0
	造 影 検 査	2,510	589	3,099	2,621	676	3,297	2,442	672	3,114
	血 管 造 影	1,781	194	1,975	2,562	161	2,723	2,032	193	2,225
	乳 腺 撮 影	44	1,402	1,446	81	2,243	2,324	96	1,971	2,067
	骨 塩 検 査	108	860	968	1,001	171	1,172	182	952	1,134
	C T 検 査	10,711	14,954	25,665	10,810	14,896	25,706	10,426	14,682	25,108
	M R 検 査	2,919	6,562	9,481	3,125	6,813	9,938	2,941	5,721	8,662
	R I 検 査	1,163	1,195	2,358	1,676	1,139	2,815	1,202	1,055	2,257
	P E T / C T	64	1,015	1,079	74	1,111	1,185	115	1,023	1,138
	画 像 出 力	1,806	6,343	8,149	2,659	7,999	10,658	2,514	8,394	10,908
	放 射 線 治 療	13,330	8,741	22,071	14,151	7,824	21,975	11,388	7,038	18,426
	合 計	65,985	77,744	143,729	69,514	78,034	147,548	64,643	79,155	143,798
画像出力枚数	半 切			387			184			152
	B 4			94			93			44
	乳 腺 用			0						
	C D / D V D			4,473			3,608			3,846
	合 計			4,954			3,885			4,042

※平成17年5月より、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。
画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っています。

イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数

年 度		平 成 23 年 度		平 成 24 年 度		平 成 25 年 度	
区 分		件数	点数	件数	点数	件数	点数
検査部	血 液 検 査	263,074	8,165,079	272,560	8,447,395	282,503	8,736,756
	緊 急 検 査	1,112,840	22,561,769	1,126,766	23,129,383	1,139,197	24,299,763
	尿 検 査	167,075	4,709,658	177,775	4,986,847	190,183	5,340,258
	輸 血 検 査	67,612	2,786,223	68,791	2,681,972	71,526	2,910,424
	細 菌 検 査	70,985	7,613,325	69,738	8,818,010	71,636	9,042,904
	生 化 学 検 査	1,982,332	39,169,133	2,054,388	41,108,317	2,091,037	42,687,132
	血 清 検 査	85,469	11,639,419	87,501	11,746,643	95,113	12,312,874
	遺 伝 子 検 査	3,956	2,153,230	4,386	2,561,403	4,770	2,808,298
	生 理 機 能 検 査	43,118	10,851,270	44,062	11,325,280	46,096	12,225,275
	検 体 検 査 管 理 加 算 料	433,025	58,620,990	450,502	55,847,768	462,854	57,143,794
	迅 速 検 査 管 理 加 算 料	237,913	2,379,130	265,231	2,652,310	267,984	2,679,840
	健 診 協 力	19,899		5,053		4,558	
	感 染 対 策 お よ び 研 究 協 力 等	343		2,210		855	
	検 査 部 合 計	4,487,641	170,649,226	4,628,963	173,305,328	4,728,312	180,187,318
	病 理 検 査	21,655	13,239,970	22,836	14,391,120	23,378	14,655,140
	病 理 診 断 料	9,187	3,850,680	8,994	5,561,440	9,344	5,758,110
	病 理 部 合 計	30,842	17,090,650	31,830	19,952,560	32,722	20,413,250
内視鏡検査		6,100	14,798,990	6,367	15,696,800	6,453	16,224,390
総 合 計		4,524,583	202,538,866	4,667,160	208,954,688	4,767,487	216,824,958

ウ 薬剤部調剤件数
(ア) 年間調剤延数(入院)

年度 科別	平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	14,499	28,793	180,051	15,895	30,665	183,074	14,104	28,401	178,698
第二内科	13,320	38,943	298,846	13,944	38,205	296,933	13,294	40,271	335,270
第三内科	9,144	18,505	115,826	9,224	17,848	111,528	8,982	18,565	121,471
第四内科	17,732	35,474	211,495	20,038	42,112	251,582	20,053	41,515	253,852
神経内科	6,189	12,928	87,980	5,826	12,803	89,899	6,751	13,012	97,723
第一外科	14,162	27,101	153,321	14,423	27,834	160,807	13,221	25,140	148,360
第二外科 ※1	9,376	20,456	119,356	9,991	21,817	130,495	928	2,052	12,379
心臓血管外科 ※1	—	—	—	—	—	—	7,443	15,578	89,187
呼吸器外科 ※1	—	—	—	—	—	—	2,460	4,543	30,795
整形外科	9,537	17,689	113,906	8,777	18,284	127,096	8,821	17,393	121,700
脳神経外科	8,477	17,396	106,067	6,821	15,081	102,780	6,932	14,365	97,088
婦人科	8,624	11,642	63,898	10,961	15,000	91,668	11,876	17,843	117,039
産科周産期科	6,586	7,356	34,050	7,366	7,918	37,098	6,768	7,407	35,618
小児科	5,259	9,158	49,443	5,597	9,636	52,722	5,851	10,096	55,648
眼科	9,898	16,827	43,607	10,196	18,264	48,046	10,844	19,824	53,559
皮膚科	7,791	15,839	80,735	7,951	16,206	79,940	8,254	16,160	80,791
形成外科	2,343	4,387	20,037	2,857	5,292	25,503	3,211	6,090	29,220
泌尿器科	6,945	11,477	64,264	7,623	12,925	72,232	6,270	9,747	54,752
耳鼻咽喉科	9,325	15,800	87,940	9,721	17,478	95,836	8,820	15,440	84,706
神経精神科	9,924	22,717	148,264	10,790	23,234	164,012	9,292	20,915	157,781
麻酔科	679	1,551	14,509	581	1,208	10,794	1,032	2,157	16,226
総合診療科	124	334	2,525	121	334	2,595	106	402	3,361
神経再生医療	0	0	0	0	0	0	194	367	2,054
放射線治療科	7,000	11,949	77,139	6,558	12,107	82,748	7,033	13,023	85,779
放射線診断科	2	3	14	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	6,936	9,485	41,138	6,885	9,745	43,733	7,107	10,111	46,389
リハビリテーション科	2,764	7,315	55,949	2,629	7,605	55,886	2,637	7,883	62,521
集中治療部※2	2,211	3,443	11,670	1,862	2,836	10,359	2,375	3,847	13,393
高度救命救急センター※2	6,721	10,184	44,092	7,925	11,687	48,994	7,334	12,142	51,217
計	195,568	376,752	2,226,122	204,562	396,124	2,376,360	201,993	394,289	2,436,577

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度以前も各部門毎の算出データはあり)

(イ) 年間調剤延数(外来)

年度 科別	平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	2,066	11,462	307,039	2,196	12,975	346,529	2,044	12,877	363,634
第二内科	2,151	12,608	406,622	2,417	14,632	471,601	2,311	14,310	495,806
第三内科	732	3,488	73,349	567	3,180	71,292	553	3,006	72,404
第四内科	723	3,567	82,139	883	3,966	93,020	1,066	4,927	115,387
神経内科	374	1,327	31,878	291	1,065	28,265	308	1,151	31,102
第一外科	890	3,036	67,354	726	2,289	62,316	615	1,748	54,118
第二外科 ※1	142	803	27,845	179	857	27,650	16	69	2,343
心臓血管外科 ※1	—	—	—	—	—	—	145	701	24,459
呼吸器外科 ※1	—	—	—	—	—	—	37	91	2,813
整形外科	1,103	2,273	48,866	1,426	3,193	77,559	1,351	3,305	85,160
脳神経外科	555	1,849	66,329	387	1,119	45,225	338	916	42,626
婦人科	236	487	9,277	241	514	8,982	333	642	10,184
産科周産期科	113	178	1,218	271	461	2,546	346	562	3,003
小児科	230	828	15,055	153	490	11,522	168	461	8,603
眼科	758	1,619	9,141	803	1,719	6,911	877	1,938	7,844
皮膚科	2,130	5,778	77,611	2,434	5,794	68,431	2,675	5,901	71,139
形成外科	158	259	3,469	215	373	3,558	209	396	4,124
泌尿器科	864	2,535	40,762	954	2,904	49,193	1,036	3,408	59,621
耳鼻咽喉科	387	797	14,714	410	850	17,274	466	1,008	18,831
神経精神科	1,378	5,752	144,717	1,248	5,049	136,500	1,420	6,098	153,552
麻酔科	1,084	5,663	87,703	941	5,020	92,276	848	4,986	103,505
総合診療科	7	27	362	24	47	631	13	29	222
神経再生医療	3	3	270	5	7	367	4	4	360
放射線治療科	56	94	2,760	52	113	4,526	73	136	4,762
放射線診断科	2	3	13	0	0	0	2	3	7
歯科口腔外科	504	789	5,443	557	862	6,232	462	730	5,034
リハビリテーション科	1,047	4,451	89,880	951	4,106	94,549	973	4,267	106,425
臨床遺伝外来※2	—	—	—	—	—	—	1	1	1
集中治療部※3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター※3	23	40	259	12	19	107	11	14	85
計	17,716	69,716	1,614,075	18,343	71,604	1,727,062	18,701	73,685	1,847,154

※1 平成24年度に第2外科を再編。平成25年5月より心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度以前も各部門毎の算出データはあり)

(ウ) 年間入院注射処方せん延数

年度 科別	平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	18,016	54,992	112,268	17,816	48,460	107,937	17,835	50,981	108,363
第二内科	16,543	47,443	101,515	16,397	47,110	100,897	15,449	43,810	88,097
第三内科	6,116	14,044	27,589	5,953	14,125	30,266	5,646	14,101	26,828
第四内科	24,178	70,733	170,209	24,782	67,809	144,367	23,026	63,064	145,749
神経内科	3,872	9,756	17,353	3,639	9,531	19,411	3,263	6,714	12,664
第一外科	17,316	42,394	75,571	16,963	41,517	83,281	15,658	36,422	69,736
第二外科 ※1	8,477	22,074	48,636	8,927	27,037	57,899	647	1,579	2,614
心臓血管外科 ※1	—	—	—	—	—	—	7,259	18,402	38,309
呼吸器外科 ※1	—	—	—	—	—	—	1,437	3,998	5,953
整形外科	8,150	20,432	40,233	7,271	17,260	23,593	7,318	17,464	28,626
脳神経外科	7,830	20,713	35,096	6,383	16,430	33,299	7,958	21,634	37,841
婦人科	5,918	19,221	31,950	7,398	23,127	41,331	7,550	23,892	40,264
産科周産期科	5,691	14,839	38,060	5,680	15,277	34,504	5,760	14,286	36,174
小児科	8,607	40,395	82,323	9,043	41,993	91,739	11,174	45,645	93,284
眼科	2,889	5,105	6,622	3,051	4,949	6,595	2,778	4,520	5,670
皮膚科	4,722	10,524	17,027	4,791	10,199	15,939	4,463	8,625	15,533
形成外科	997	2,120	4,181	1,647	3,407	6,573	2,047	4,254	10,896
泌尿器科	5,394	14,050	24,730	5,661	15,743	26,922	5,178	17,711	35,573
耳鼻咽喉科	5,312	12,988	23,639	6,085	13,395	23,190	5,321	11,737	20,490
神経精神科	859	1,482	3,260	878	2,037	3,519	1,131	2,507	3,759
麻酔科	203	300	630	239	349	712	465	790	1,324
総合診療科	3	5	7	0	0	0	0	0	0
神経再生医療	0	0	0	0	0	0	68	136	197
放射線治療科	3,108	7,713	34,815	2,753	6,839	11,432	3,942	10,300	19,186
放射線診断科	3	11	16	1	1	1	0	0	0
歯科口腔外科	6,112	12,289	19,438	5,581	11,346	17,792	5,437	10,856	18,786
リハビリテーション科	331	701	971	395	973	1,245	449	862	1,006
集中治療部※2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター※2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	160,647	444,324	916,139	161,334	438,914	882,444	161,259	434,290	866,922

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度以前も各部門毎の算出データはあり)

(エ) 年間院外処方延数

年度 科別	平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	19,049	106,436	3,606,540	19,250	107,534	3,710,328	19,390	107,301	3,761,345
第二内科	31,358	172,268	6,388,020	31,940	177,421	6,743,046	31,661	176,208	6,873,205
第三内科	8,721	31,891	793,511	7,715	27,690	708,820	7,585	28,899	741,945
第四内科	12,153	51,248	1,679,209	12,949	55,203	1,789,066	11,947	53,463	1,777,982
神経内科	6,245	26,001	983,490	6,329	25,948	1,027,357	6,491	27,447	1,088,922
第一外科	7,256	19,449	703,744	6,134	16,439	643,968	6,210	16,580	663,264
第二外科 ※1	2,084	9,933	329,053	2,054	9,927	341,891	152	816	31,533
心臓血管外科 ※1	—	—	—	—	—	—	1,411	7,660	283,180
呼吸器外科 ※1	—	—	—	—	—	—	280	512	12,099
整形外科	12,264	25,460	630,677	12,707	27,825	755,785	13,039	29,064	833,148
脳神経外科	4,482	13,416	581,217	3,585	11,295	509,757	3,371	10,478	496,419
婦人科	5,489	9,055	252,312	5,752	9,743	262,443	6,267	10,284	291,520
産科周産期科	1,391	2,036	23,616	1,379	2,024	23,632	1,342	1,991	22,499
小児科	7,150	21,018	553,510	6,606	19,692	520,341	6,202	20,459	532,621
眼科	14,548	29,700	230,259	15,296	31,225	237,956	16,178	34,280	247,305
皮膚科	15,504	42,216	582,969	16,154	44,229	628,030	16,807	45,361	667,783
形成外科	1,073	1,504	11,631	1,079	1,569	12,665	1,008	1,564	14,033
泌尿器科	6,831	11,875	498,017	6,875	12,316	542,050	6,955	13,570	580,272
耳鼻咽喉科	9,738	22,651	606,201	9,824	23,094	639,163	10,417	24,654	688,730
神経精神科	20,279	79,971	1,954,611	19,545	77,190	1,966,960	20,132	83,299	2,129,017
麻酔科	3,594	15,619	312,172	3,248	14,033	309,444	4,182	17,305	412,671
総合診療科	2,907	10,338	261,774	3,579	12,545	304,732	3,489	12,536	316,207
神経再生医療	80	252	11,180	143	470	22,640	147	494	22,556
放射線治療科	1,689	3,049	88,804	1,435	2,608	84,864	1,412	2,752	89,635
放射線診断科	23	36	837	16	21	618	4	9	122
歯科口腔外科	4,950	7,622	78,517	4,646	7,197	75,526	4,259	6,533	64,748
リハビリテーション科	2,769	10,770	228,282	2,621	10,886	244,866	2,578	11,219	259,230
臨床遺伝外来※2	—	—	—	—	—	—	0	0	0
集中治療部※3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター※3	69	306	6,637	47	140	2,234	72	189	2,725
計	201,696	724,120	21,396,790	200,908	728,264	22,108,182	202,988	744,927	22,904,716

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度以前も各部門毎の算出データはあり)

エ 手術部手術件数

(単位：件)

年 度 科 別	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	平 成 25 年 度
第 一 内 科	16	17	6
第 二 内 科	13	27	15
第 三 内 科	3	0	3
第 四 内 科	21	19	11
神 経 内 科	1	2	2
第 一 外 科	622	579	606
第 二 外 科 ※ 1	590	619	44
心臓血管外科※ 1	—	—	290
呼吸器外科※ 1	—	—	238
整 形 外 科	771	829	821
脳 神 経 外 科	281	199	253
婦人科・産科周産期科	816	878	916
小 児 科	10	6	4
眼 科	1, 279	1, 265	1, 407
皮 膚 科	286	353	328
形 成 外 科	490	623	644
泌 尿 器 科	480	466	461
耳 鼻 咽 喉 科	396	429	406
神 経 精 神 科	38	158	207
放 射 線 治 療 科	2	0	2
放 射 線 診 断 科	0	0	0
麻 酔 科	29	16	20
総 合 診 療 科	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	569	591	539
リハビリテーション科	1	0	1
神 経 再 生 医 療 科	0	0	0
高度救命救急センター ※ 2	181	210	190
集 中 治 療 部 ※ 2	0	0	0
合 計	6, 895	7, 286	7, 414

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編(平成23年度も各部門毎の算出データはあり)

(5) 分娩件数

区 分	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	平 成 25 年 度
件 数	352	324	359

(6)病床数（平成26年10月1日現在）

① 病棟別病床数

病 棟 名	室数	床数	特等		一等		一般		1 床 部 屋	2 床 部 屋	3 床 部 屋	4 床 部 屋	5 床 部 屋	6 床 部 屋	8 床 部 屋	1 0 床 部 屋	1 1 床 部 屋
			室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟（第2内科・神経再生医療科・共用）	12	52			2	2	10	50	2	2		1		7			
11階南病棟（第3内科・共用）	14	51					14	51	4	1	3			6			
10階北病棟（第4内科・共用）	15	52	1	1	1	1	13	50	6	2				7			
10階南病棟（第1内科・共用）	15	51			2	2	13	49	4	4	1			6			
9階北病棟（皮膚科・形成外科・共用）	15	50			1	1	14	49	4	5				6			
9階南病棟（耳鼻咽喉科・内科共用）	15	50			1	1	14	49	5	3	1			6			
8階北病棟（脳神経外科・神経内科・共用）	14	43					14	43	3	4	1	1	5				
8階南病棟（整形外科・共用）	14	51			2	2	12	49	5	2				7			
7階北病棟（眼科・共用）	12	50			3	3	9	47	3	1	1			7			
7階南病棟（小児棟）	13	41					13	41	5	1		1	6				
6階北病棟（婦人科・共用）	14	49	1	1			13	48	4	3	1			6			
6階南病棟（産科周産期、生殖内分泌科・共用）	9	37			1	1	8	36	1	3				5			
5階北病棟（心臓血管外科・呼吸器外科・共用）	14	47	1	1	2	2	11	44	3	4		1	4	2			
5階南病棟（第1外科・共用）	14	51					14	51	3	3	2			6			
4階北病棟（神経精神科）	14	42					14	42	4	4			6				
4階南病棟（泌尿器科・麻酔科・共用）	14	42			2	2	12	40	3	5		1	5				
3階中央病棟（リハビリテーション科・神経内科・共用）	11	40					11	40		5			6				
2階南病棟（歯科口腔外科・共用）	13	42			2	2	11	40	4	2		1	6				
1階南病棟（放射線治療科・共用）	21	48			2	3	19	45	9	7			5				
高度救命救急センター	5	36					5	36					1	2	1		1
集中治療部	3	13					3	13	1	1						1	
合 計	271	938	3	3	21	22	247	913	73	62	10	6	44	73	1	1	1

1) 集中治療部門には人工透析室(6床)が設置している。

2) 等級別室料差額料金 特等:10,800円、一等:5,400円

② 診療科等別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
第1内科	51	脳神経外科	38	耳鼻咽喉科	50	高度救命救急センター	36
第2内科	52	神経再生医療科	—	神経精神科	42	合 計	935
第3内科	51	婦人科	49	放射線治療科	48		
第4内科	52	産科周産期科	37	放射線診断科	—		
神経内科	29	小児科	41	麻酔科	5		
第1外科	51	眼科	50	総合診療科	—		
心臓血管外科	34	皮膚科	30	歯科口腔外科	37		
呼吸器外科	10	形成外科	20	リハビリテーション科	16		
整形外科	51	泌尿器科	42	集中治療部	13		

※上記のほか共通床として3床がある。

③ 特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
結核病床	11階南病棟	6
RI病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	11
	集中治療部門	10
クリーンルーム	集中治療部門	3
NICU	6階南病棟	6
GCU	6階南病棟	6

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	年 度		平 成 2 3 年 度			平 成 2 4 年 度			平 成 2 5 年 度		
	性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科			2		2	2	1	3	3		3
第 二 内 科			4	2	6	2		2	1	3	4
第 三 内 科			1		1	1	1	2		1	1
第 四 内 科			1	1	2	1		1	4		4
神 経 内 科			1		1	2	1	3		1	1
第 一 外 科			2		2	1		1	1		1
第 二 外 科 ※ 1											—
心臓血管外科※ 1					—			—			
呼吸器外科※ 1					—			—			
整 形 外 科											
脳 神 経 外 科											
婦 人 科											
産 科 周 産 期 科											
小 児 科											
眼 科											
皮 膚 科										1	1
形 成 外 科											
泌 尿 器 科						1		1			
耳 鼻 咽 喉 科											
神 経 精 神 科											
放 射 線 治 療 科			1		1	1		1	1		1
放 射 線 診 断 科											
麻 酔 科											
総 合 診 療 科											
歯 科 口 腔 外 科				1	1					1	1
リハビリテーション科											
神 経 再 生 医 療 科											
救急集中治療部※ 2			1	2	3			—			—
集 中 治 療 部 ※ 2					—						
高度救命救急センター※ 2					—						
院 外			5	3	8	5	2	7	1	3	4
計			18	9	27	16	5	21	11	10	21

※1 平成24年度に第二外科を再編。平成25年5月から心臓血管外科、呼吸器外科として診療科開始

※2 平成24年度に救急集中治療部を集中治療部(集中治療部門)と高度救命救急センター(救急部門)に再編

(8) 医療相談状況(平成25年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	第一内科	第二内科	第三内科	第四内科	第一外科	第二外科※	整形外科	脳神経外科	産科周産期科	婦人科	小児科	眼科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	麻酔科	歯科口腔外科	リハビリテーション科	神経内科	形成外科	救命救急センター・高度集中治療部	総合診療科	神経再生医療科	放射線治療科	放射線診断科	その他	合計
入院	新規	119	85	93	82	75	69	114	71	88	70	67	48	46	58	74	59	4	32	31	96	35	79	0	3	24	0	20	1,542
	継続	85	50	55	92	80	25	139	68	98	31	232	30	16	38	70	29	5	9	30	82	39	45	0	0	28	0	0	1,376
	計	204	135	148	174	155	94	253	139	186	101	299	78	62	96	144	88	9	41	61	178	74	124	0	3	52	0	20	2,918
外来	新規	172	99	81	63	98	27	244	63	72	159	64	116	51	74	59	121	12	48	46	84	42	12	18	3	32	0	88	1,948
	継続	272	97	89	51	84	17	211	69	137	110	109	76	39	29	67	127	49	19	120	85	29	14	1	0	8	0	12	1,921
	計	444	196	170	114	182	44	455	132	209	269	173	192	90	103	126	248	61	67	166	169	71	26	19	3	40	0	100	3,869
合計		648	331	318	288	337	138	708	271	395	370	472	270	152	199	270	336	70	108	227	347	145	150	19	6	92	0	120	6,787
備考		新規継続計		3,490件 3,297件 6,787件		51% 49% (100.0%)		※平成25年5月以降、第二外科は心臓血管外科と呼吸器外科に別れているが、統計数値は2科を合算したもの																					

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比(%)	備考
小児医療関係	育成医療	370	3.1%	
	小児慢性特定疾患	277	2.3%	
	養育医療・その他	141	1.2%	
医療費支払援助		1,316	11.0%	
生活保護法関係		489	4.1%	
障害福祉関係		961	8.0%	
老人福祉関係		78	0.6%	
介護保健関係		449	3.7%	
特定疾患医療		760	6.3%	
労働災害関係		36	0.3%	
健康保険関係		403	3.4%	
年金・手当関係		488	4.1%	
家族問題		70	0.6%	
就職・社会復帰		31	0.3%	
退院・転院援助		178	1.5%	
院内連絡調整		1,894	15.8%	
院外連絡調整		1,168	9.7%	
受診援助・指導		337	2.8%	
その他		1,696	14.1%	
心理判定・カウンセリング		865	7.2%	
計		12,007	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成23年度	17,156,192,415	4,173,607,147	21,329,799,562	80.4	19.6	100.0
平成24年度	17,472,797,974	4,398,746,263	21,871,544,237	79.9	20.1	100.0
平成25年度	17,930,045,493	4,548,488,434	22,478,533,927	79.8	20.2	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	入院 外来	年度		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
初診料	入院 外来	9,126,446 68,903,005	8,342,607 69,100,245	8,616,346 69,831,180
再診料	外来	230,984,068	235,642,346	237,769,348
医学管理料等・在宅医療	入院 外来	82,582,922 273,996,037	73,495,587 285,433,440	84,038,873 307,708,485
検査料	入院 外来	299,882,008 1,024,868,314	302,746,216 1,100,584,058	318,364,097 1,132,876,423
画像診断料	入院 外来	157,003,142 776,867,421	131,593,632 761,257,590	128,475,219 693,652,277
投薬料	入院 外来	238,756,781 441,194,806	252,446,228 509,508,563	277,525,645 583,857,571
注射料	入院 外来	653,190,752 777,216,810	548,045,154 861,344,974	666,694,187 913,047,165
処置料	入院 外来	136,389,174 40,156,108	120,696,050 33,889,228	135,902,573 39,393,047
手術・麻酔	入院 外来	5,064,720,576 92,267,257	5,260,613,698 97,544,760	5,481,595,488 114,717,579
その他	入院 外来	521,746,445 447,153,321	546,942,681 444,441,059	529,130,169 455,635,359
入院料(出来高部分)	入院	2,528,413,109	2,439,891,355	2,478,778,252
入院料(DPC部分)	入院	6,976,727,080	7,293,331,020	7,325,336,410
室料差額	入院	34,878,250	33,180,000	37,377,000
食事	入院	452,775,730	461,473,746	458,211,234
計	入院 外来	17,156,192,415 4,173,607,147	17,472,797,974 4,398,746,263	17,930,045,493 4,548,488,434

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

平成23年4月1日 医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置
医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更

平成24年3月31日 医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止

平成25年4月1日 分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更

平成25年8月1日 遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日 黒 木 由 夫
平成26年4月1日－現 在 時 野 隆 至

(3) 歴代研究所副所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日 澤 田 典 均
平成26年4月1日－現 在 三 高 俊 広

(4) 組織

研究所に細胞科学、ゲノム医科学、組織再生学、分子医学、病態情報学、神経再生医療学、免疫制御医学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成26年10月1日現在)

部 門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	技師	計
細胞科学部門	1	1	1					1	4
ゲノム医科学部門	1	1	1				1		4
組織再生学部門	1	1		1		2			5
分子医学部門		1		1	1				3
病態情報学部門	1		1	1 ※ 2					4
神経再生医療学部門	1		2 1 ※ 1	3 ※ 2					7
免疫制御医学部門	1			2					3
合 計	6	4	6	9	1	2	1	1	30

※ 1 特任講師 ※ 2 特任助教

(5) 研究計画の概要

ア 細胞科学部門

- (ア) ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明
- (イ) ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究
- (ウ) 炎症・アレルギー・がんに共通に関与がみられる新規細胞間接着分子の同定
- (エ) 肥満によるがんの悪性化機構の解明
- (オ) 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明
- (カ) 軸索ガイダンス分子の発現機能解析

イ ゲノム医科学部門

- (ア) ヒトがんの発生機序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の網羅的変異解析と個別化医療への応用
- (ウ) がんにおける細胞周期チェックポイント異常の解析
- (エ) がんの遺伝子治療の基礎研究
- (オ) ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立

ウ 組織再生学部門

- (ア) 肝幹・前駆細胞の増殖及び成熟化機序の解明
- (イ) 小型肝細胞特異的遺伝子及びそのタンパク質の機能解析
- (ウ) 肝幹・前駆細胞の移植による肝細胞置換と肝疾患治療への応用の試み
- (エ) 胎仔及び成体肝幹・前駆細胞を用いたin vitro肝組織形成
- (オ) 細胞外基質の肝組織形成における役割
- (カ) 胆管などの肝組織構造形成を制御する分子メカニズムの解析

エ 分子医学部門

- (ア) 肺癌等の悪性腫瘍の分子病理学的研究
- (イ) 上皮間葉転換が誘導する薬剤抵抗性機構の解明
- (ウ) 特発性間質性肺炎の分子病理学的研究
- (エ) 難治性悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発

オ 病態情報学部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) ヒト臨床試験フィールドの構築
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

カ 神経再生医療学部門

- (ア) 幹細胞の増殖・分化に関する研究
- (イ) 幹細胞の分化制御に関する研究
- (ウ) 幹細胞の癌化に関する研究
- (エ) 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究
- (オ) 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究
- (カ) 各種脳神経疾患への臨床研究
- (キ) 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究
- (ク) 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究
- (ケ) 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究

キ 免疫制御医学部門

- (ア) ヒト免疫細胞の分化、機能調節機序の研究
- (イ) 抗原特異的な抗体産生機構の研究
- (ウ) エピイムノームの形成機構の研究
- (エ) 免疫アレルギー病態の解明と臨床への応用
- (オ) 免疫関連病態の研究推進フローの確立

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4 月 1 日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4 月 1 日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年 4 月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6 月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4 月 1 日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の7部門と1施設に再編
平成 24 年 4 月 1 日	画像・映像支援部門を新設

(2) 歴代施設部長及びセンター長

昭和44年 4 月 1 日－昭和45年 3 月31日	小野江 為 則
昭和45年 4 月 1 日－昭和46年 8 月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9 月 1 日－昭和50年 3 月31日	田 中 護
昭和50年 4 月 1 日－昭和54年 3 月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4 月 1 日－昭和58年 3 月31日	林 喬 義
昭和58年 4 月 1 日－昭和61年 3 月31日	藪 英 世
昭和61年 4 月 1 日－平成 2 年 3 月31日	秋 野 豊 明
平成 2 年 4 月 1 日－平成 6 年 3 月31日	森 道 夫
平成 6 年 4 月 1 日－平成10年 3 月31日	加 納 英 雄
平成10年 4 月 1 日－平成12年 3 月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4 月 1 日－平成16年 3 月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4 月 1 日－平成20年 3 月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4 月 1 日－平成22年 3 月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4 月 1 日－平成26年 3 月31日	藤 宮 峯 子
平成26年 4 月 1 日－現 在	小 林 宣 道

(3) 組織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、画像・映像支援部門の8部門からなり、構成員は以下のとおりである。
(平成26年10月1日現在)

部 門	部 門 長			臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技能員	技師	計
	教授	准教授	講師						
システム管理部門	1 ※								1
形態解析部門			1 ※	2					3
電子顕微鏡部門		1 ※				2			3
蛋白質解析部門		1 ※							1
遺伝子解析部門	1 ※								1
細胞バンク部門			1 ※				1	1	3
ラジオアイソトープ部門	1 ※				4				5
画像・映像支援部門	1 ※							4	5
合計	4 ※	2 ※	2 ※	2	4	2	1	6	22

※兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験施設規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日－昭和59年3月31日	浦 澤 正 三
昭和59年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫
昭和63年4月1日－平成4年3月31日	藪 英 世
平成4年4月1日－平成8年3月31日	大 鹿 英 世
平成8年4月1日－平成10年3月31日	新 津 洋司郎
平成10年4月1日－平成14年3月31日	今 井 浩 三
平成14年4月1日－平成17年3月31日	青 木 藩
平成17年4月1日－平成19年3月31日	加 納 英 雄
平成19年4月1日－平成22年3月31日	澤 田 典 均
平成22年4月1日－平成26年3月31日	堀 尾 嘉 幸
平成26年4月1日－現在	高 橋 弘 毅

(3) 組織

（平成26年10月1日現在）

部長	副部長	主任技師	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣	庶務	計
1※1	1	1	1	3(1)※2	7(2)※3	1(1)※4	15

※1 兼務 ※2 () 内非常勤職員（契約職員）再掲 ※3 () 内短時間勤務再掲 ※4 () 内日々雇用職員再掲

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会
感染防止委員会実験動物部会
札幌医科大学動物実験規程

(5) 事業の概要（平成25年度）

ア 施設利用者数 延べ 13,922 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数(受入頭数)	延べ飼育数※
ラット	4,320	402,097
遺伝子改変ラット	6(内数)	8,004(内数)
マウス	5,416	1,707,967
遺伝子改変マウス	54(内数)	1,005,727(内数)
モルモット	28	2,050
ウサギ	15	567
ネコ	0	105
ブタ	1	5
サル	0	0
ウニ	0	0
イヌ	0	0
ハムスター	0	732

※延べ飼育数は、頭数×日数で算出

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ	イヌ
受入頭数	4,320	5,416	28	15	1	0
発病頭数	0	0	0	0	0	0
死亡頭数	6	1	0	0	0	0
剖検検査頭数	627	1,813	0	0	0	0
抗体検査頭数	93	112	-	-	-	0
培養検査頭数	42	115	0	0	0	0

7 附属総合情報センター

(1) 沿革

昭和25年 4月 旧女子医学専門学校校舎の一室に図書館業務を開始
 昭和31年 7月 附属図書館新築落成
 平成11年 4月 附属情報センター組織
 平成11年 6月 現図書館開館
 平成18年 4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。
 平成19年 4月 特別開館時間の拡大（24時間開館）

(2) センター長

平成18年 4月 1日－平成22年3月31日 佐藤 昇 志
 平成22年 4月 1日－平成26年3月31日 當瀬 規 嗣
 平成26年 4月 1日－現在 氷見 徹 夫

(3) 組織

(平成26年 4月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
所 長	1 ※			1
副 所 長	1 ※	1		2
企 画 開 発 室	1			1
主 任 司 書			1	1
総務・システム係		4	1	5
図 書 係			6	6
計	3	5	8	16

※ 兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (Windows 7 130台) 等 保健医療学部教育用機器 (Windows 7 69台) 等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1 階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、学術論文評価システム等	情報研究室他

ウ 地域医療支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	TV会議システム、病理画像診断サーバシステム等	情報研究室

エ 図書館システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
<p>本学所蔵資料の検索システム並びに電子ジャーナル提供システムの整備により、本学所属員の教育、研究支援を計るとともに、学術文献情報提供による卒後アフターと地域医療支援を計る。</p> <p>平成26年度学外利用者登録数 2,150名</p>	<p>図書雑誌管理システム、論文管理システム</p> <p>*平成12年5月 日本医学図書館協会賞を受賞</p>	基礎医学研究棟 5階

オ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
情報センターが整備する上記4システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク（SINET4）と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアーウォール、ウィルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟5階コンピュータ（サーバ）室

（図書館部門）

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,140 m ²
閲覧席	293 席
情報コンセント	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V（視聴覚）端末	12 台
有料セルフコピー（コイン式）	3 台
有料プリンター（コイン式）	4 台

イ 蔵書

（平成26年3月31日現在）

項 目		冊 数
蔵書	図書	88,995冊
	製本雑誌	125,992冊
	計	214,987冊

項 目		冊 数
学術雑誌	和雑誌	3,364タイトル
	洋雑誌	3,077タイトル
	計	6,441タイトル
電子ジャーナル		6,137タイトル

ウ 入館者数内訳（平成25年度）

（単位：人）

	開館日数	学内者					学外者	合計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全体	356日	16,117	144,158	3,316	1,667	165,258	4,696	169,954
うち土日祝	110日	2,932	28,227	802	477	32,438	1,378	33,816

※土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要（平成25年度）

項 目		利用数
利用状況	館外貸出	21,178冊（うち本学卒業生958冊）
	相互利用（学外からの受付）	5,894件（うち道内医療機関等3,625件）
	相互利用（学外への依頼）	4,194件

オ 地域医療支援（平成25年度文献複写受付）

相互利用（学外からの受付）	内 訳	医療機関等	大学等	その他	計
	道 内	3,625件	373件	35件	4,033件
	道 外	632件	1,229件	0件	1,861件
	計	4,257件	1,602件	35件	5,894件

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

- ・米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

- ・国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

8 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) 歴代センター長

平成19年4月1日－平成20年3月31日 濱 田 洋 文

平成20年4月1日－平成23年5月9日 三 高 俊 広

平成23年5月10日－平成24年3月31日 黒 木 由 夫

平成24年4月1日－平成26年3月31日 佐 藤 昇 志

平成26年4月1日－現在 澤 田 典 均

(3) 組織

(平成26年10月1日現在)

センター長	副センター長	事務職員	特任助教	計
1 ※	2 (うち1 ※)	5	2	10

※兼務

(4) 業務概要

ア 研究支援

○科学研究費助成事業等

文部科学省科学研究費助成事業をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等

○共同研究・受託研究・寄附金

本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付・あっせん・契約、寄附金の受入、経理等

○寄附講座・特設講座

産学連携の推進や奨学を目的とした寄附講座・特設講座の設置、経理等

イ 教育支援

○知財教育プログラム

医学研究者、地域医療従事者を対象とした知財教育の実施

○知的財産関係図書

知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

○相談受付

研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付

○知的財産管理

発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、知的財産にかかる各種契約等

○リエゾン（知財を核とした技術移転）

本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費助成事業

(単位：千円)

種 目	平成 24 年度							平 25 年度						
	新 規 応 募		交付内定					新 規 応 募		交付内定				
			(新規)			交付合計				(新規)			交付合計	
	件数	金 額	件数	金 額	採択率	件数	金額	件数	金 額	件数	金 額	採択率	件数	金額
特定領域研究	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
新学術領域研究(研究領域提案型)	3	435,000	0	0	0%	0	0	3	468,000	0	0	0%	0	0
新学術領域研究(公募研究)	10	69,034	1	2,300	10%	1	2,300	14	117,000	1	2,200	7.1%	2	4,500
基盤研究(S)	1	185,000	0	0	0%	0	0	1	185,000	0	0	0%	0	0
基盤研究(A)	3	144,000	0	0	0%	1	8,700	2	95,000	0	0	0%	1	8,600
基盤研究(B)	25	481,835	5	27,000	20.0%	18	80,300	23	431,709	3	15,400	13.0%	17	67,300
基盤研究(C)	112	507,982	39	65,400	34.8%	91	115,011	129	579,672	32	47,900	24.8%	99	121,650
挑戦的萌芽研究	40	172,080	16	21,700	40.0%	28	35,600	42	191,671	8	12,100	19.0%	26	29,000
若手研究(S)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
若手研究(A)	3	78,350	1	7,400	33.3%	1	7,400	3	49,396	0	0	0%	1	6,600
若手研究(B)	86	385,996	26	42,400	30.2%	43	62,300	104	459,567	31	45,500	29.8%	58	75,000
研究活動スタート支援	11	27,470	3	3,200	27.3%	4	4,400	6	16,482	2	1,500	33.3%	2	1,500
奨励研究	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究員奨励費	2	6,600	2	2,000	100%	4	3,300	3	2,900	0	0	0%	3	2,900
研究成果公開促進費	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	1	600
合 計	296	2,493,347	93	171,400	31.4%	191	319,311	330	2,596,397	77	124,600	23.3%	210	317,650

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	57	178,776	54	108,615	42	124,724
一般受託研究	50	19,181	65	20,814	93	39,499
合 計	107	197,957	119	129,429	135	164,223

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
出 願	18	16	24	19	15	26
取 得	0	1	3	5	9	20

※出願数は、国際出願（PCT 出願）を含む。

9 分子標的探索講座

(1) 沿革

平成 20 年 5 月 1 日 日東電工株式会社の寄附により、分子標的探索講座を設立

(2) 担当教授

平成 20 年 5 月 1 日－現在 新 津 洋 司 郎

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

特任教授	特任助教	研究支援者	計
1	2	4	7

(4) 研究計画の概要

- ア まず、p53 のがん抑制因子としての活性が、TGF β の作用に絶対的に依存していることを、in vitro、in vivo の系で証明し、次いで様々ながん腫におけるこのシグナルの異常を解析した上で、それによって低下したがん抑制活性を高める為の様々な治療戦略を開発する。
- イ 細胞の運動シグナルのマスター分子である pkczeta の阻害分子を探索し、転移モデル、炎症モデルで有用性を検証する。
- ウ がん随伴する線維芽細胞（がん細胞に様々な成長因子を与えている）に特異的に発現している受容体を介して、抗癌剤を取り込ませ死滅させるという、新しい概念の癌間質抑制療法を開発する。
- エ 大腸がんの初期発生過程に GSTpi/Raf/ERK シグナルが関与していることを、in vitro、in vivo の系で証明し、GSTpi 阻害剤の化学予防薬としての有用性を検証する。
- オ 肝組織再生時の星細胞の役割（幹細胞との相互作用）を明らかにし、他の組織においてもそのアナロジーが成り立つか否かを検証する。それと同時に星細胞における VA 受容体の同定を行いその役割についても調べる。
- カ 臓器線維症の治療薬（VA-lip-siRNAHSP47）を開発し、臨床応用へと展開する。
- キ 組織再生戦略として、線維化組織や異常な血行を再構築した上で、組織幹細胞を活性化させる、または多機能幹細胞（ips、ES、骨髄間葉系幹細胞）を外部から導入するという構想を具体化する。

10 生体工学・運動器治療開発講座

(1) 沿革

平成 24 年 4 月 1 日 バイオメット・ジャパン株式会社及びスミス・アンド・ネフュー
オーソペディックス株式会社の寄附により、生体工学・運動器
治療開発講座を設立

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 24 年 4 月 1 日－現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成 24 年 4 月 1 日－現在 名越 智

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任教授	研究支援員	計
1 ※	1 ※	3 ※	1	1	7

※兼務

(4) 研究計画の概要

下記の内容を実施することにより、運動器疾患の治療に用いる人工関節置換術における耐用年数や若年者の関節における生体工学的環境の改善といった課題に対して、臨床的アプローチのみならず基礎的研究による解決を目指し、特に運動器生体工学的研究と臨床における画像解析による運動器機能の再建、改善に関わる新たな知見を得ることを目的とする。

ア 運動器疾患に対する新しい治療法の開発

①骨切り術における三次元画像シミュレーション

②特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における術前計画と臨床成績

③特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立

④インプラントデザインの検証と開発

イ 人工関節置換術を用いた治療成績向上の戦略

①人工関節置換術に関する臨床的研究

②手術アプローチの開発と安全性の検証

ウ 関節疾患における生体工学的機能開発

①人工関節における生体工学的研究

②バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検証

11 アイン・ニトリ緩和医療学推進講座

(1) 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 株式会社ニトリホールディングス及び株式会社アインファーマシーズの協力により寄附講座としてアイン・ニトリ緩和医療学推進講座を設置

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日－現在 山 蔭 道 明

イ 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日－平成 25 年 11 月 30 日 杉 本 直 子

平成 25 年 12 月 1 日－現在 米 田 舞

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任助教	計
1 ※	1 ※	2 ※	2	6

※兼務

(4) 研究計画の概要

本講座では、緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療の普及と発展を図るため、次の取組を実施する。

- ア 患者・家族の緩和医療・ケアに求めるものに関する実態調査を実施し、分析するとともに、多職種連携に関する研究課題を検討する。
- イ 検討事項に関して、身体症状担当医師、精神症状担当医師、認定看護師、認定薬剤師、臨床心理士、社会福祉士がそれぞれの分野において活動し、その成果を公表するとともに、多職種連携が適切に行われ臨床に活かされているかを考察し、教員・研究者へのフィードバックと院内・外、地域医療へ還元する。
- ウ 「がん相談サロン」のあり方を検討し、がん患者の包括的アセスメントに占めるコ・ワーカーとしての位置づけを確立する。
- エ 多職種連携型の緩和医療を推進するモデルケースとして当講座の役割を地域において公開講座、学会、セミナー等で発信する。

12 再生治療推進講座

(1) 沿革

平成 26 年 2 月 1 日 ニプロ株式会社の寄附により、寄附講座として再生治療推進講座を設置

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 26 年 2 月 1 日－現在 本 望 修

イ 代表教員

平成 26 年 2 月 1 日－現在 上 田 知 沙

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任助教	訪問研究員	研究補助員	計
1 ※	1 ※	1	1 1 ※	1	1 5

※兼務

(4) 研究計画の概要

本寄附講座は、神経再生医療学部門が進めてきた自己骨髄細胞を利用した脳梗塞や脊髄損傷等の再生医療の基礎研究、臨床研究及び医師主導型治験をベースに、神経再生医療学部門と共同で、医師主導型治験から、その後の再生医療の実用化（製造・販売）に向けた研究開発を行う。

- ア 治験薬 GMP に則った細胞の製造から、施設管理、衛生管理、品質管理及びパイロットプラントである CPC の維持管理業務等、治験薬製造の効率化を検討する。
- イ 細胞医薬品の同等性評価方法の研究に着手する。また、より適切な方法と試験に必要な器具の開発を行う。更に品質検査体制について、新体制で品質検査を実施するために各種バリデーションと作業員の教育訓練を実施し、早期に新体制を確立する。
- ウ 実用化の際に課題となるコスト削減と製造環境の無菌性の向上を目標に専用の製造設備の開発に着手する。
- エ 原料となる患者から採取した血液と骨髄及び製品の搬送条件を検討する。搬送時の温度と時間による劣化を検討し、その結果を基に品質を安定化できる搬送器具の開発に着手する。
- オ 製品の有効期限を検討するため、長期安定性試験を実施する。培養した細胞を長期に冷凍保管し、長期保存のデータを取得する。

13 糖尿病細胞療法講座

(1) 沿革

平成 26 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズの協力により、寄附講座として糖尿病細胞療法講座を設置

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 26 年 4 月 1 日－現在 藤 宮 峯 子

イ 代表教員

平成 26 年 4 月 1 日－現在 水 江 由 佳

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任助教	計
1 ※	1 ※	1	3

※兼務

(4) 研究計画の概要

本講座では、透析患者の急増に伴い社会的要請の強い糖尿病性腎障害を標的にした細胞療法の開発研究を行い、3 年目以降に医師主導型治験を開始することを目標にする。

ア 糖尿病でおこる骨髄間葉系幹細胞(MSC)異常の解析と賦活化法の検討

糖尿病モデル動物(ラット)および糖尿病患者由来の MSC の異常性を評価する。具体的には、糖尿病ラットおよびヒト由来の MSC を *in vivo* で糖尿病モデル動物(STZ, HFD マウスやラット等)に投与した際の治療効果を、正常 MSC による効果と比較検討する。また、*in vitro* で糖尿病由来 MSC と正常 MSC で、細胞増殖能、遊走能、細胞内小器官の形態などを比較検討する。

さらに、糖尿病患者由来の MSC に関して、糖尿病性腎症のステージ 4 (顕性糖尿病性腎症)やステージ 5 (透析患者)などの重症例における MSC の異常性の評価と賦活化の手法や指標等について検討する。

イ MSC の効果的投与方法に関する検討

腎障害の改善を図り、腎透析への移行を防止するためには、単回投与でよいのか、それとも一定の期間をおいて複数回投与する必要があるのかなどの投与回数を含めた MSC の効果的投与方法を検討する。

ウ 薬事戦略相談(PMDA)に応じた非臨床試験実施

実用化を目指して、PMDA に事前相談および対面助言を行い、助言内容に即した非臨床安全性試験を行う。

14 オホーツク医療環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 8 月 1 日 北見赤十字病院からの申し出により特設講座としてオホーツク医療環境研究講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 8 月 1 日－平成 26 年 3 月 31 日 篠 村 恭 久
平成 26 年 4 月 1 日－現 在 下 濱 俊

イ 代表教員

平成 22 年 8 月 1 日－平成 25 年 3 月 31 日 本 谷 雅 代
平成 25 年 4 月 1 日－現 在 志 谷 真 啓

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教 授	講 師	助 教	特任助教	事務職員	計
1 1 ※	1 ※	1 ※	3	1	1 7

※兼務

(4) 研究計画の概要

本講座では、地域医療を担う医療従事者に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究及びその実践を行うため、次の取組みを実施する。

- ア 地域医療に従事する医師が精度の高い診断技術と適切な診療を行う判断力を養うため、教授方法の研究及びその実践
- イ 看護ケアの充実・向上を図るため、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を持つ看護師を養成し、地域病院の看護師等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催
- ウ 地域のリハビリテーション水準の向上を図るため、専門の指導士を養成し、地域病院の理学療法士等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

15 道民医療推進学講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として道民医療推進学講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日－現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日－平成 26 年 3 月 31 日 和田 卓郎

平成 26 年 4 月 1 日－現在 金谷 耕平

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教 授	特任准教授	特任助教	計
4 ※	1	3	8

※兼務

(4) 研究計画の概要

地域医療の確保を目的に、地域医療を担う医師の養成に関する調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究

地域にはそれぞれ固有の医療ニーズがあると考えられる。地域特異的な医療ニーズを明らかにすることにより、地域特性を踏まえた医療資源の効率的な提供方法を考案し、地域医療の質の向上を図る。

イ 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究

地域医療に従事する医師に対する最新の医療知識・技術の教授方法の研究をすることにより、医療情報格差が生じないようなシステムの構築と教育研修の実践を行う。

ウ 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立

地域における医療供給体制の充実を図るための医療機関の機能分化と連携手法について研究する。

エ 地域の医療水準を向上するためのコメディカルスタッフに対する教育・指導法の研究及び実践

地域医療を担う看護師等に対する最新の医療知識の教授を行う。

オ 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床

大学と地域基幹病院と地域医療機関で医療情報を迅速に共有化することにより、専門医の的確な診断・治療助言ができるようなシステムを構築する。

カ 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践

地域住民の健康に対する知識や意識を高める手法を研究することにより、疾病の予防や医療費の低減を図る。また、公開講座などの実践を行う。

16 南檜山周産期環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として南檜山周産期環境研究講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日－現在 齋 藤 豪

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日－平成 22 年 12 月 31 日 高 橋 円

平成 23 年 1 月 1 日－現在 齋 藤 豪

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教 授	助 教	特 任 助 教	計
2 ※	2 ※	1	5

※兼務

(4) 研究計画の概要

深刻な産婦人科医不足の問題の解決に向けて、本講座では、地域の周産期医療を担う医師の養成、安全な分娩体制の構築等について調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究及び実践

過疎地域において周産期医療を行うためには、個々の医師が分娩時に起こる様々な事象に適切に対処することが求められる。地域においてそのような技能と知識を習得できるような教授方法の開発と大学における地域周産期医療を担う人材の育成を行う。

イ 地域において産科医師が安全に分娩業務を行うための方法の研究及び臨床

産科医が自ら望んで地域に来て、安心して分娩業務を遂行するために、どのような体制を構築することが必要かについて調査し、産科医にとって魅力的な職場にする手法を研究する。

ウ 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究及び実践

産科医が対応できないような場合でも、妊産婦あるいは胎児の状態の変化に対して的確な判断ができるような助産師・コメディカルを養成することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

エ 産科医、麻酔科医連携に関する調査・研究及び実践

緊急帝王切開をはじめとして、分娩に生じる様々な緊急事態に適切に対応するために必要な知識や手法の教授や研修会を開催することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

加えて、産科医と麻酔科医の連携手法等の調査を行うことにより、地域における産科医の負担を軽減する手法を研究する。

17 がん疼痛緩和医療学講座

(1) 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 本学が文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に選定されたことに伴い、特設講座としてがん疼痛緩和医療学講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

イ 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

(3) 組織

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

教 授	講 師	助 教	計
1 ※	1 ※	3 (うち 1 ※)	5

※兼務

(4) 研究計画の概要

がん患者の疼痛、悪心嘔吐、呼吸困難など様々な症状は、QOL の低下と予後の悪化を招くことが知られている。特に、がん関連疼痛は治療に難渋することが多く、その機序の解明および症状緩和の方法についてさらなる研究が期待されている。

当講座ではがん患者の疼痛および諸症状の機序および緩和方法について研究する。さらに、これらの症状コントロールに適切に対応できる医療人の育成も担い、その効果的な教育方法と臨床への展開についても研究テーマとする。

ア がん疼痛の機序解明に関する臨床および基礎研究

- ・がん疼痛モデルをはじめとする様々な疼痛モデルを用いて、がん関連疼痛の機序を解明するための動物実験を行う。
- ・がんおよびその関連病態に伴う患者の痛みの発症原因を、因子解析、ゲノム解析、臨床薬理学的検討などの手法を用いて、臨床での患者を対象に解明する。

イ がん疼痛の制御に関連する臨床および基礎研究

- ・痛みに対する薬物治療、神経ブロック、精神心理療法、リハビリテーションなどの効果を基礎的および臨床的に検討する。

ウ がんおよびその治療に伴う諸症状の緩和に関する研究

- ・悪心嘔吐、呼吸困難、抑うつなど、がん治療は痛み以外に様々な症状に出現する。それらの機序の解明と症状緩和について、基礎的および臨床的に検討する。

エ がんおよび症状治療に伴う苦痛の軽減に関する研究

- ・がん治療および症状緩和を行うための手技（抗がん薬投与、カテーテル留置など）の安全性向上と苦痛の軽減を目的として、それらの評価方法および新たな技術の開発を行う。

オ 緩和医療医の育成と適切な地域医療への配置に関する研究

- ・適切に緩和医療を行うことができる医療人の育成も担い、その効果的な教育方法と地域医療への展開について研究する。

18 平成26年度収入支出予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>6,521,000</u>	<u>業務費</u>	<u>30,419,926</u>
運営費交付金	6,521,000	教育研究経費	1,404,486
		医薬材料費	7,936,957
<u>学生納付金</u>	<u>869,932</u>	診療経費	2,768,598
学生納付金	869,932	管理経費	4,110,523
		人件費	14,199,362
<u>附属病院収入</u>	<u>22,649,140</u>	<u>財務費用</u>	<u>529,674</u>
診療収入	22,649,140	長期借入金償還費	529,674
<u>雑収入</u>	<u>909,528</u>		
負担金及び補助金	420,017	<u>受託経費</u>	<u>325,898</u>
科学技術研究費等間接経費	136,282	受託経費	325,898
その他雑収入	353,229		
<u>受託収入</u>	<u>325,898</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>754,334</u>
受託収入	325,898	寄附金事業費	754,334
<u>寄附金収入</u>	<u>754,334</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,100,982</u>
寄附金	754,334	施設整備費	580,982
		機器整備費	520,000
<u>道費補助金</u>	<u>580,982</u>		
施設整備費補助金	580,982		
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>		
医療機器整備費借入金	520,000		
計	33,130,814	計	33,130,814

19 校舎等建物面積

(平成26年10月 1 日現在)
(単位：㎡)

建 物 別 用 途 別		計	大 学 校 舎								R I センター・フロンティア医学研究所	臨海医学研究所
			東 棟	本 部 棟	教 育 北 棟	教 育 南 棟	保 健 医 療 学 部 棟	臨 床 教 育 研 究 棟	基 礎 医 学 研 究 棟	更 衣 室		
校 舎	講義室・演習室	3,599	680	358	328	906	1,075	252				
	実験室・実習室	2,971	224		763	361	1,258	79	286			
	研 究 室	1,331	352				407	63	509			
	講 座 関 係	11,330	463	27	562		129	6,301	3,848			
	標 本 館	370							370			
	図 書 館	4,230							4,230			
	RI研究センター	1,212									1,212	
	動物実験施設部	1,360	1,065	295								
	講 堂	490						490				
	管理関係その他	31,628	5,154	1,245	895	474	4,769	7,605	11,311	175		
研 究 所	小 計	58,521	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,554	175	1,212	0
	フロンティア医学研 究 所	1,617									1,617	
計	小 計	1,617									1,617	0
	計	60,138	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,554	175	2,829	0

建 物 別 用 途 別		計	附 属 病 院		体 育 館	弓 道 場	グランド・附属物	学 生 寮	保 育 所	看 護 師 宿 舎	国 際 医 学 交 流 センター	リハビリテーション教育実習棟	交 会 流 館	ファミリーハウス	記 念 ホール	細胞プロセッシング施設	旧臨海学研究所	その他
			中央診療棟	外来診療棟														
附 属 病 院	病 棟 関 係	24,635	22,253	2,382														
	外 来 関 係	8,632	901	7,731														
	中 央 部 門	11,373	10,257	1,116														
	管理関係その他	20,727	17,631	3,096														
	小 計	65,367	51,042	14,325														
体 育 施 設		1,741			1,440	139	162											
学 生 寮		1,190						1,190										
保 育 所		486							486									
看 護 師 宿 舎		2,847								2,847								
国 際 医 学 交 流 センター		618									618							
リハビリテーション教育実習棟		778										778						
交 流 会 館		1,907											1,907					
ファミリーハウス		553												553				
記 念 ホール		733													733			
細胞プロセッシング施設		364														364		
そ の 他		480															199	281
計		77,064	51,042	14,325	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	553	733	364	199	281

総 計 137,202

平成26年度 札幌医科大学要覧

平26年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学
事務局経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
